PX-B500

取扱説明書
ネットワーク編

本製品をネットワークプリンタとして使うために必要な情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。

目的に応じて必要な章を参照してください。

NPD3977-00

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには以下のような意味があります。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.5 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS の表記

本製品は、Mac OS X v10.3.9 以降に対応しています。
本書中では、上記を「Mac OS X」と表記しています。
アップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。

商標

ご注意

もくじ

1 設定の前に

ネットワークインターフェイスの機能や動作環境と、導入作業の概要などを説明します。

動作環境

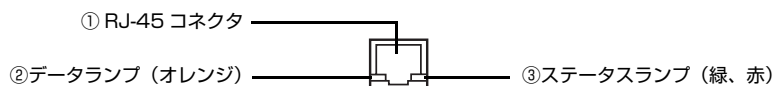
本製品のネットワークインターフェイスの動作環境を説明します。本製品の対応 OS はプリンタの取扱説明書を参照してください。

以下を参照して、お使いの環境に対応しているか確認してください。

OS とバージョン	対応プロトコルおよび印刷サービス
Windows 2000	TCP/IP（LPR、Standard TCP/IP または EpsonNet Print）
Windows XP/Vista （32bit/64bit に対応）	TCP/IP（LPR、Standard TCP/IP または EpsonNet Print）
Mac OS X v10.3.9 以降	• AppleTalk（EPSON AppleTalk） • TCP/IP（EPSON TCP/IP、Rendezvous、Bonjour）

！重要 本製品をダイヤルアップルータ使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

各部の名称と働き

本製品のネットワークインターフェイス各部の名称と機能を説明します。

①RJ-45 コネクタ

LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

②データランプ(オレンジ)

接続状態またはデータの受信状態を示します。

③ステータスランプ(緑、赤)

ネットワークの通信速度を示します。

②データランプ（オレンジ）	③ステータスランプ（緑、赤）	状態
点灯	点灯（赤）	100Base-TX で接続されている状態
点滅	点灯（赤）	100Base-TX でデータ受信中
点灯	点灯（緑）	10Base-T で接続されている状態
点滅	点灯（緑）	10Base-T でデータ受信中
消灯	点灯（緑）	未接続

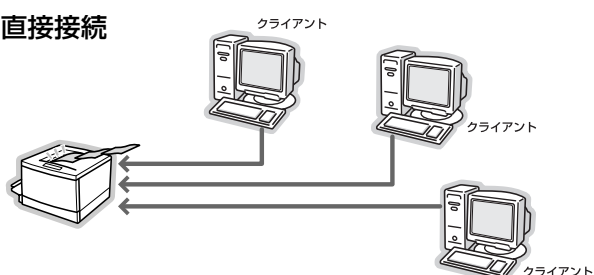
印刷環境の確認

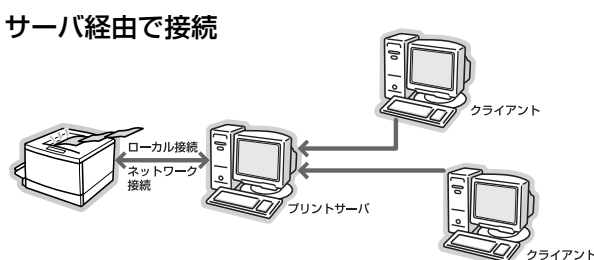
本製品の設定を始める前に、以下を参照してお使いのネットワーク環境と手順を確認します。

わからない用語は用語集を参照してください。
☞ 本書 81 ページ「用語集」

接続方法の確認と導入手順

ネットワーク環境で本製品を使うには 2 つの接続方法があります。以下の説明を参考に、どの接続方法を使用するか決定してから導入手順を確認してください。

直接接続

長所： サーバ用コンピュータを用意する必要がない
短所： 各コンピュータにネットワーク印刷をするための設定が必要
利用に適した環境：SOHO などの小規模ネットワーク

サーバ経由で接続

長所： 印刷をする各コンピュータ（クライアント）でネットワーク印刷をするための設定が容易
短所： 別途サーバ用コンピュータが必要
利用に適した環境：オフィスや学校などの大規模ネットワーク

直接接続や、サーバ経由接続でサーバとプリンタを直接接続する場合は、次に印刷方法を確認します。サーバ経由接続でサーバとプリンタをローカル（USB ケーブル）接続する場合は、プリンタの取扱説明書を参照してサーバとプリンタを接続してください。

印刷方法の確認

OS	印刷方法
Windows 2000/XP*	• EpsonNet Print（LPR）印刷 • 標準 TCP/IP（LPR）印刷
Windows Vista*	• EpsonNet Print（LPR）印刷 • 標準 TCP/IP（LPR）印刷
Mac OS X v10.3.9 以降	• EPSON TCP/IP 印刷 • Bonjour 印刷（Mac OS X v10.4 以降） • Rendezvous 印刷（Mac OS X v10.3.9）

＊　32bit/64bit に対応

次に印刷方法の概要と特徴を参考に印刷方法を決定してください。

印刷方法の概要と特徴

EpsonNet Print 印刷（TCP/IP プロトコルを使用）

- ネットワークインターフェイスの IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、IP アドレスを自動追従します。
- ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 LPD/RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選択できます。
- Windows のスプーラ画面の上部に、本製品のステータスを表示します。

標準 TCP/IP 印刷（TCP/IP プロトコルを使用）

- Windows に標準搭載されている印刷方法です。
- ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を使用できます。
- イベントビューアを使用して印刷ログ（記録）が取れます。
- IP アドレスの設定が必要です。

EPSON TCP/IP 印刷

- 本製品の IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、設定し直す必要がありません。
- 本製品の Bonjour/Rendezvous 機能をオンにすることを推奨します（本製品の工場出荷時はオンになっています）。
- 本製品を固定 IP アドレスで使用するときは、IP アドレスを手動設定することもできます。

Bonjour/Rendezvous 印刷

- 本製品の Bonjour/Rendezvous 機能をオンにする必要があります（本製品の工場出荷時はオンになっています）。
- 本製品の IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、設定し直す必要がありません。

接続方法と印刷方法が決定したら、コンピュータのネットワーク設定に進みます。
☞ 本書 10 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2 コンピュータのネットワーク設定

コンピュータからネットワークインターフェイスの設定や印刷をするには、あらかじめコンピュータにネットワークに関する設定をしておきます。ここでは、その手順を説明します。

お使いの製品がどの OS に対応しているかは、プリンタの取扱説明書で確認してください。

コンピュータのネットワーク設定をする

ネットワークインターフェイスの設定やネットワーク印刷をするには、コンピュータにネットワーク設定が必要です。

Windows

対応プロトコル（TCP/IP）が組み込まれていることを確認します。確認後、各種アドレスの設定がされていることを確認します。

すでに TCP/IP が利用可能な状態になっている場合は、以下のページに進んでください。

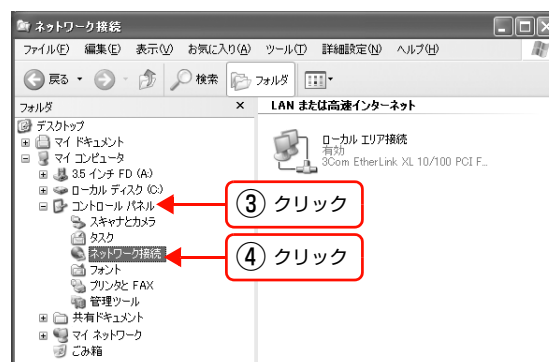
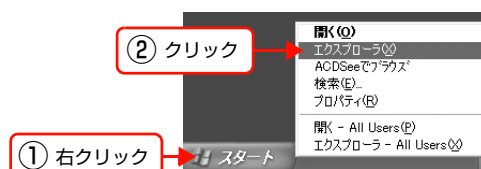
☞ 本書 15 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

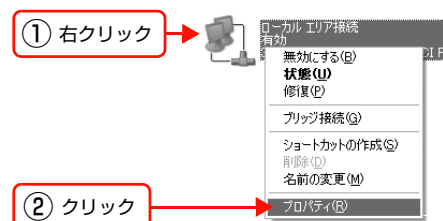
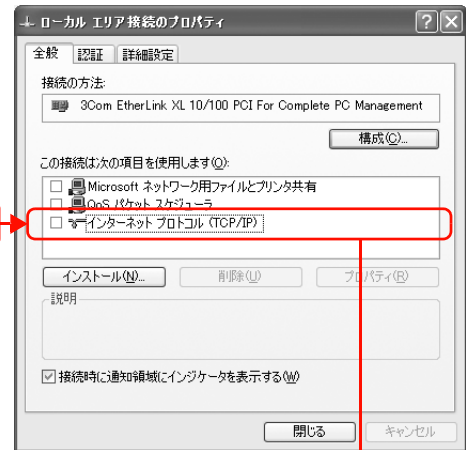
コンポーネント（プロトコル）の確認

必要なコンポーネント（プロトコル）がコンピュータに組み込まれていることを確認します。

1 **［スタート］を右クリックし、［エクスプローラ］をクリックして、表示された画面で［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順にクリックします。**

Windows 2000：
［マイネットワーク］を右クリックして、［プロパティ］をクリック

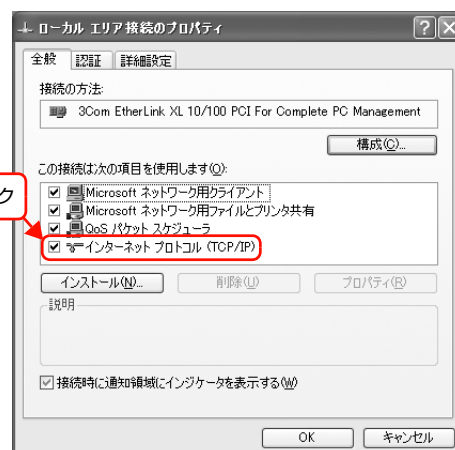
Windows Vista：
［ ］－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワーク接続の管理］をクリック

2 **［ローカルエリア接続］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**

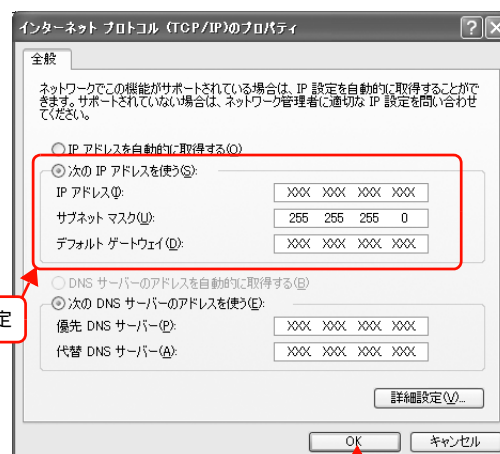
Windows Vista：
［ユーザーアカウント制御］画面が表示されるので、［続行］をクリック

3 ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］が組み込まれているか確認します。

以上で終了です。

アドレスの確認

LPR 印刷をする場合は、コンピュータに IP アドレスなどの各種アドレスの設定が必要です。各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下のページを参照してください。
☞ 本書 63 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1 **コンポーネントの確認の手順 1、2 を参考にして、「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を表示します。**

2 **[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をダブルクリックします。**
Windows Vista：
[インターネットプロトコル バージョン 4]をダブルクリック

3 **各種アドレスを設定して、[OK]をクリックします。**

DHCP サーバや DHCP 機能付きのルータをお使いの環境で、コンピュータに自動で IP アドレスを割り当てるときは[IP アドレスを自動的に取得する]を選択します。

4 **コンピュータを再起動します。**

以上で終了です。

次にネットワークインターフェイスを設定します。
☞ 本書 15 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Mac OS X

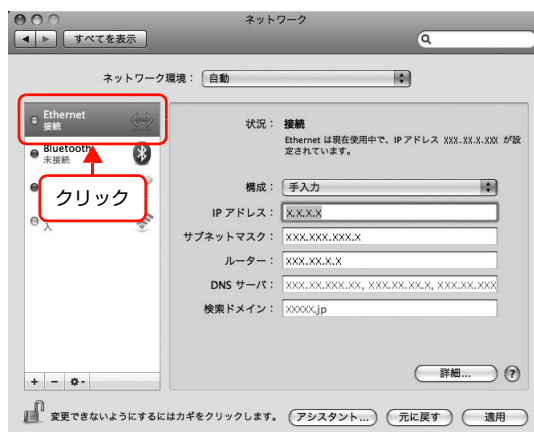
TCP/IP プロトコルを設定するには管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。
Bonjour/Rendezvous を使用して印刷するときは、IP アドレスを DHCP または Zeroconf（APIPA）などで取得してください。
すでに TCP/IP が利用可能な状態になっているときは、以下のページに進んでください。
☞ 本書 15 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

TCP/IP の設定

各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下のページを参照してください。
☞『取扱説明書』（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

1 **アップルメニューの［システム環境設定］をクリックします。**

2 **［ネットワーク］アイコンをクリックします。**

3 **［Ethernet］をクリックします。**
Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：
［表示：］で［内蔵 Ethernet］を選択

4 **必要事項を設定します。設定終了後［適用］（または［今すぐ適用］）をクリックします。**

以上で終了です。

次にネットワークインターフェイスを設定します。
☞ 本書 15 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

3 ネットワークインターフェイスの設定

コンピュータのプロトコルを設定したら、ネットワークインターフェイスを設定します。ネットワークインターフェイスの設定を始める前に、プリンタが印刷可能な状態か確認してください。プリンタがセットアップされていないときは、プリンタの取扱説明書を参照してください。

設定方法の紹介

本製品のネットワークインターフェイスを設定するには、2 つの方法があります。

- プリンタの操作パネルで設定する
- 同梱のソフトウェアを使って設定する

各設定方法の詳細を確認して、設定方法を決定してください。

プリンタの操作パネルで設定

プリンタの操作パネルの表示を見ながらボタンを操作して、ネットワーク項目を設定します。
設定できる項目は、各プロトコルの使用有無とアドレスの設定のみです。それ以外の項目（DNS サーバの登録や SNMP など）を設定するときは、同梱のソフトウェアで設定してください。

操作パネルでの設定方法の詳細は、プリンタの取扱説明書を参照してください。
その後、印刷するコンピュータを設定してください。
本書 26 ページ「印刷をするコンピュータの設定」

設定ソフトウェアで設定

ソフトウェア CD-ROM に収録の設定ソフトウェアは以下の２つです。

- EpsonNet EasyInstall
- EpsonNet Config

各ソフトウェアの詳細を以下に説明します。

EpsonNet EasyInstall

ウィザード形式で、簡単にアドレスの設定ができるソフトウェアです。本ソフトウェアはソフトウェア CD-ROM から起動します。起動した画面の指示に従って設定を進めます。

アドレス設定後にプリンタドライバと EpsonNet Print をインストールして、直接印刷用のプリンタポートを自動作成します。

Mac OS X では、アドレスの設定のみ行います。

それ以外の項目（DNS サーバの登録や SNMP など）の設定は、EpsonNet Config で設定してください。

EpsonNet Config

ネットワークインターフェイスの各種アドレスや名称などを設定するソフトウェアです。Windows 版、Mac OS 版、Web 版があります。

Windows 版、Mac OS 版はコンピュータにインストールしてから使用します。
インストール手順など詳細は、以下のページに進みます。
本書 17 ページ「EpsonNet Config で設定する」

Web 版はネットワークインターフェイスに内蔵されており、コンピュータの Web ブラウザから起動します。ネットワークインターフェイスの設定のほかに、プリンタの消耗品の確認ができます。ただし Web 版は、ネットワークインターフェイスおよびコンピュータに IP アドレスが設定されていないと使えません。
使い方の詳細は、以下のページに進みます。
本書 52 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

EpsonNet Config で設定する

本製品のネットワークインターフェイスの設定には、必ず本製品に同梱の EpsonNet Config（Windows）をお使いください。
動作環境の確認後に、ソフトウェアをインストールしてください。

動作環境

EpsonNet Config（Windows）は、以下の環境で動作します。

OS	• Windows 2000 • Windows XP • Windows Vista	• Mac OS X v10.3.9 以降
ハードディスク	15MB 以上の空き容量	
表示	解像度：800 × 600 ドット以上	

EpsonNet Configをインストールする

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）のインストール手順を説明します。
インストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

- Mac OS X 独自のファイルフォーマット「UNIX ファイルシステム」には対応していません。
- 本文中のソフトウェア CD-ROM の画面は、実際の表示と異なることがあります。
- インストールしたソフトウェアの削除方法は、EpsonNet ソフトウェアの削除方法を参照してください。
  本書 61 ページ「EpsonNet ソフトウェアの削除方法」

1 コンピュータに本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。

Windows Vista：［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］で発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリック
Mac OS X：［Mac OS X］アイコンをダブルクリック

2 ［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリックします。

Windows Vista：［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックしてから、［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリック

3 ［EpsonNet Config（設定ツール）のインストール］の［ ］をクリックします。

4 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

以上で終了です。

次に EpsonNet Config を起動します。
本書 18 ページ「EpsonNet Config の起動」

EpsonNet Config の起動

ソフトウェアを起動する前に、プリンタに用紙や同梱物（インクカートリッジなど）を取り付け、印刷可能な状態か確認してください。

☞ プリンタの取扱説明書

正常に動作することを確認したら、プリンタと EpsonNet Config をインストールしたコンピュータとハブを LAN ケーブルで接続して、プリンタの電源を入れます。
印刷可能な状態であることを確認したら、その後以下の手順でソフトウェアを起動します。

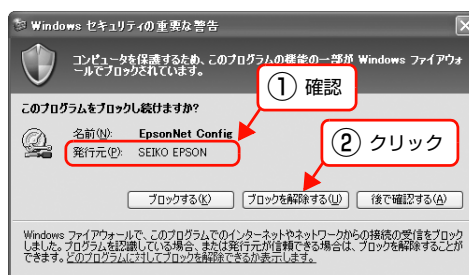
Windows

1 **［スタート］（または ）－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EpsonNet］－［EpsonNet Config］の順にクリックして起動します。**

Windows Vista：［ユーザーアカウント制御］画面が表示されるので、［続行］をクリック

参考

以下の画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON」であることを確認して、［ブロックを解除する］をクリックしてください。［ブロックする］をクリックしたときは、EpsonNet Config（Windows）を Windows ファイアウォールに登録してください。
また市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしていると、ファイアウォールソフトウェア関連の画面が表示されることがあります。ソフトウェアの取扱説明書を参照して、一時的に通信を許可してください。

☞ 本書 33 ページ「困ったときは」

以上で終了です。

Mac OS X

1 **［Macintosh HD］アイコン－［アプリケーション］フォルダの順にダブルクリックします。**

［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OS X を起動中のハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

2 **［EpsonNet］フォルダをダブルクリックします。**

3 **［EpsonNet Config］フォルダをダブルクリックします。**

4 **［EpsonNet Config］アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。**

以上で終了です。

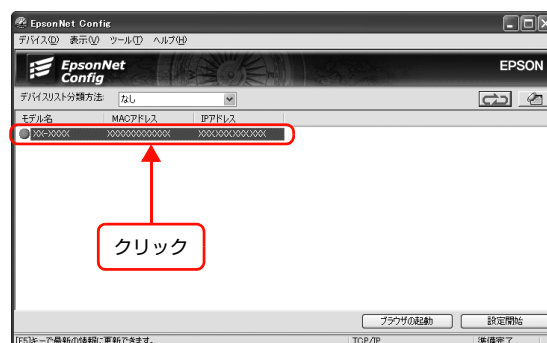
次に設定手順を説明します。

☞ 本書 19 ページ「設定方法」

設定方法

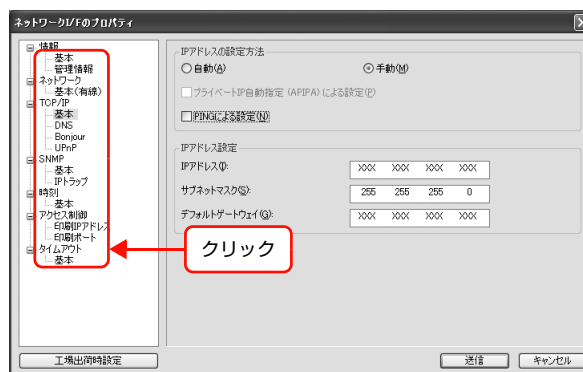
EpsonNet Config を使って、ネットワークインターフェイスを設定します。

- 各設定画面とメニューバーの詳細説明は、各 EpsonNet Config のヘルプを参照してください。
- ネットワークインターフェイスを工場出荷時の状態に戻すときは、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 25 ページ「工場出荷時への戻し方」

1 **画面のリストで、本製品を選択します。**

- お使いのコンピュータのローカルネットワーク外に本製品がある場合は、［ツール］ －［オプション］ －［TCP/IP］でアドレスを指定すると表示されます。
- IP アドレスが工場出荷時以外に設定されている場合、［ブラウザの起動］をクリックすると、EpsonNet Config（Web）が起動します。
  ☞ 本書 52 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」
- 複数台選択して、まとめて設定することもできます。詳細はヘルプを参照してください。

2 **［設定開始］をクリックします。**

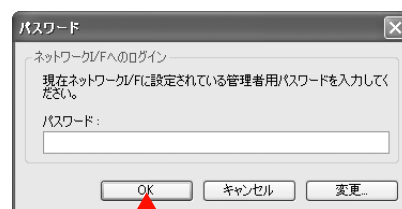
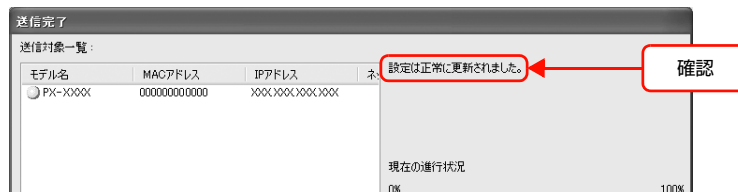
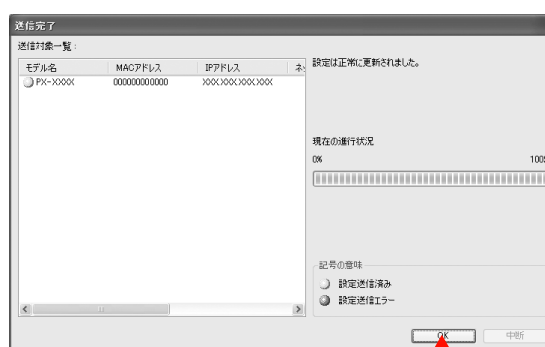
3 **［ネットワーク I/F のプロパティ］画面が開いたら、画面左側の項目の中から、設定するプロトコルの項目をクリックします。**

［TCP/IP］ － ［基本］ と ［Bonjour］ の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 23 ページ「［TCP/IP］ － ［基本］ 画面」
☞ 本書 24 ページ「［TCP/IP］ － ［Bonjour］ 画面」
それ以外の項目の詳細は、ヘルプで確認してください。

4 **各項目の設定が終了したら、［送信］をクリックします。**

5 **表示された画面で［OK］をクリックします。**

6 **初めて設定するときは、パスワードが設定されていないので［OK］をクリックします。**

パスワードをすでに設定している場合は、［パスワード］欄にパスワードを入力して［OK］をクリックしてください。パスワードを設定する場合は、以下のページに進みます。

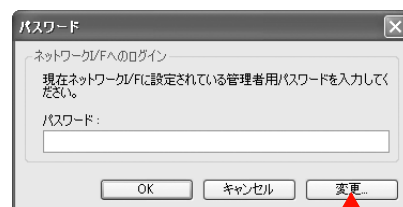
☞ 本書 22 ページ「パスワード」

！重要 「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークインターフェイスに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。

7 **［OK］をクリックします。**

8 **設定が有効になるまで最大３分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、［表示］－［最新の情報に更新］をクリックして、設定値を確認してください。**

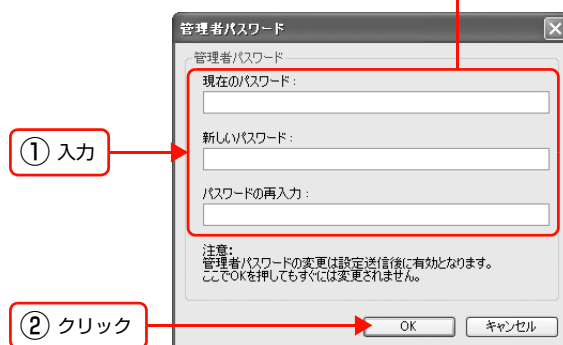
以上で終了です。

次に印刷をするコンピュータを設定します。
☞ 本書 26 ページ「印刷をするコンピュータの設定」

パスワード

パスワードは、ネットワークインターフェイスの設定を保護するためのものです。[ネットワーク I/F のプロパティ] 画面で [送信] をクリックしたり、「工場出荷時設定」をクリックすると [パスワード] 画面が表示されます。なお [工場出荷時設定] をクリックして表示された [パスワード] 画面では、パスワードの変更はできません。

1 **パスワードを初めて設定したり、変更するときは、[変更] をクリックします。**

2 **各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、[OK] をクリックします。**

大文字・小文字は区別されます。

3 **手順 1 の画面に戻り、何も変更せずに [OK] をクリックします。**

新しいパスワードは、[OK] をクリックして、設定送信した後に有効になります。

- パスワードは、EpsonNet Config と EpsonNet Config（Web）共通で使用します。パスワードの管理は十分注意してください。
- パスワードを忘れてしまったときは、操作パネルの設定でネットワークの設定初期化を実行してください。
  ☞ プリンタの取扱説明書

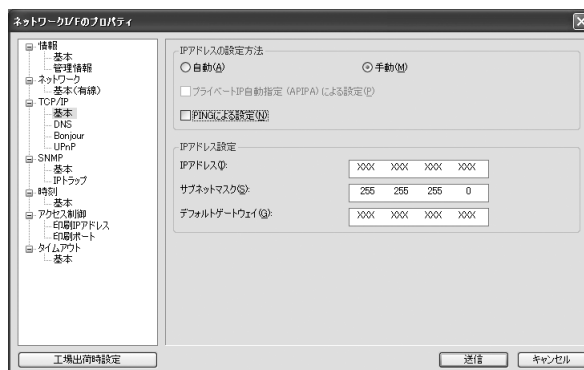
以上でパスワードの設定は終了です。

プロパティ画面の説明

ここでは［ネットワーク I/F のプロパティ］画面の［TCP/IP］－［基本］画面と［Bonjour］画面を説明します。それ以外の項目の詳細は、各 EpsonNet Config のヘルプを参照してください。

本書 23 ページ「[TCP/IP] －［基本］画面」
本書 24 ページ「[TCP/IP] －［Bonjour］画面」

[TCP/IP] – [基本] 画面

IP アドレスに関する項目を設定します。

IP アドレスの設定方法

設定項目	設定内容
自動	DHCP または BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得するときに選択します。 プリンタの電源を入れるたびにネットワークインターフェイスに割り振られる IP アドレスが変更されます。 DHCP または BOOTP サーバのない環境では使用できません。設定の詳細は各サーバの取扱説明書を参照してください。
手動	［IP アドレス設定］項目で IP アドレスを設定するときに選択します。
プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定	チェックを付けると、DHCP サーバが存在しないときや応答がないときに、IP アドレスが APIPA（Automatic Private IP Addressing）によって自動設定されます。 IP アドレスの設定方法が手動の場合、この項目は設定できません。
PING による設定	IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定するときにチェックを付けてください。

IP アドレス設定

設定項目	設定内容
IP アドレス	ネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力します。IP アドレスが分からないときは以下のページを参照してください。 本書 33 ページ「困ったときは」 ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用している IP アドレスと重複しないようにしてください。 工場出荷時は［192.168.192.168］ですが、このままでは使用できません。この IP アドレスを使用するときは、一旦消してから同じ IP アドレスを再入力すると使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 工場出荷時は［255.255.255.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。

設定項目を変更したときは、設定方法の手順 4 に戻り、変更内容をネットワークインターフェイスに送信してください。

[TCP/IP] − [Bonjour] 画面

Bonjour で印刷するときに設定します。

基本設定

設定項目	設定内容
Bonjour を使用する	Bonjour を使用するときにチェックを付けます。
Bonjour 名	［Bonjour を使用する］にチェックを付けたときに有効になります。 Bonjour 上で使用する名前を入力します。半角英数の 2 文字以上 53 文字以下で入力してください。
プリンタ名	プリンタの名前を入力します。半角英数の 1 文字以上 41 文字以下で入力してください。

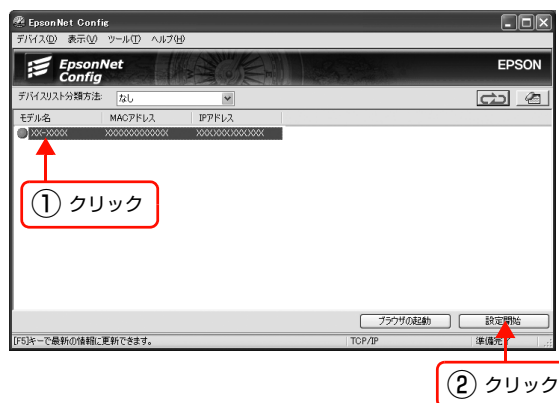
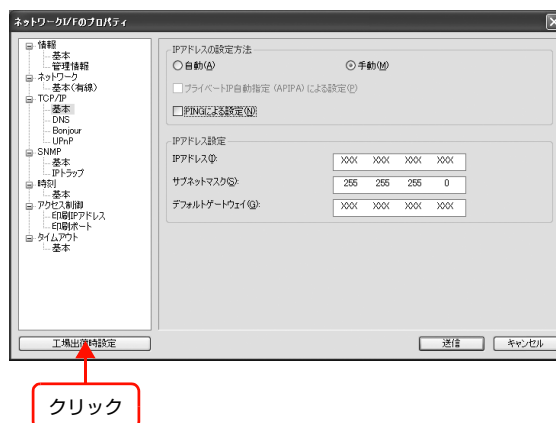
設定項目を変更したときは、設定方法の手順 4 に戻り、変更内容をネットワークインターフェイスに送信してください。

工場出荷時への戻し方

ネットワークインターフェイスに誤った設定をしたときは、以下の手順で工場出荷時の状態に戻してください。

1 **EpsonNet Config を起動します。**

☞ 本書 18 ページ「EpsonNet Config の起動」

2 **画面のリストで、本製品を選択して、[設定開始] をクリックします。**

3 **[工場出荷時設定] をクリックします。**

その後は「設定方法」の手順 5 以降を参照してください。

☞ 本書 19 ページ「設定方法」

以上で終了です。

4 印刷をするコンピュータの設定

ネットワークに接続した本製品に印刷するには、プリンタドライバのインストールとプリンタポートの設定が必要です。
ここではインストールと設定の手順を OS 別に説明します。

印刷するコンピュータの設定をする

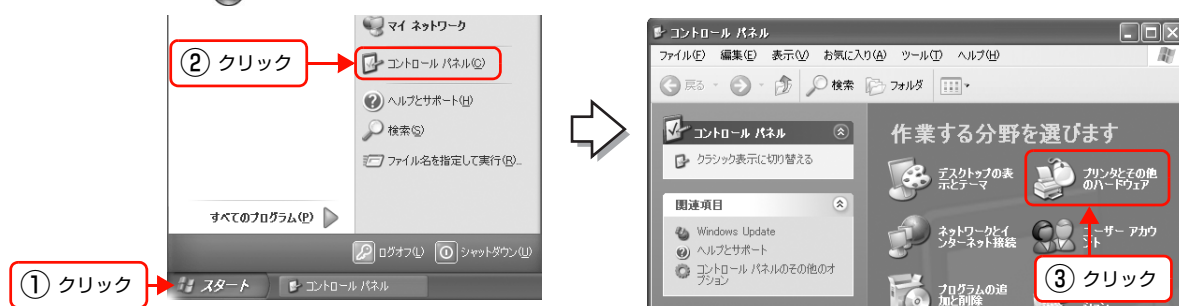
「印刷環境の確認」で選択した印刷方法に応じて、セットアップをします。
各印刷方法の詳細は、以下のページに進みます。
☞ 本書 27 ページ「EpsonNet Print（LPR）で印刷する（Windows)」
☞ 本書 27 ページ「標準 TCP/IP（LPR）で印刷する（Windows)」
☞ 本書 32 ページ「EPSON TCP/IP、Bonjour、Rendezvous で印刷する（Mac OS X)」

EpsonNet Print(LPR)で印刷する(Windows)

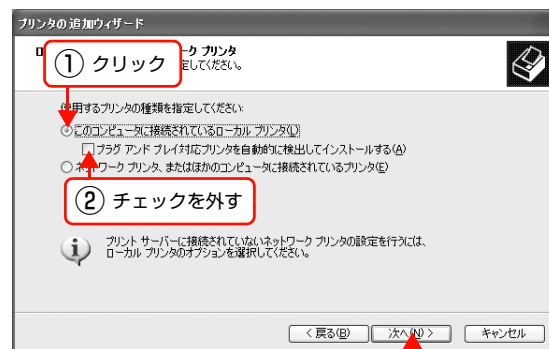
EpsonNet Print ソフトウェアを使用して、本製品に印刷データを直接送る設定をします。
EpsonNet Print をインストールしてから、プリンタポートの設定やプリンタドライバのインストールをします。詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 42 ページ「EpsonNet Print の使い方」

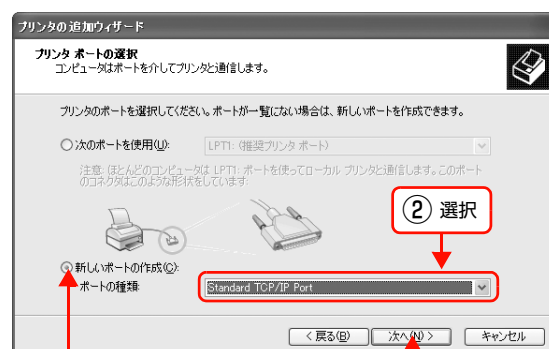
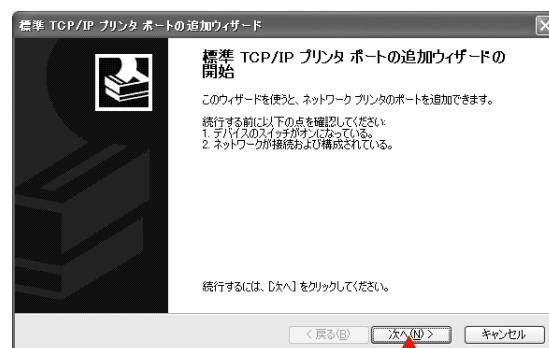
標準 TCP/IP(LPR)で印刷する(Windows)

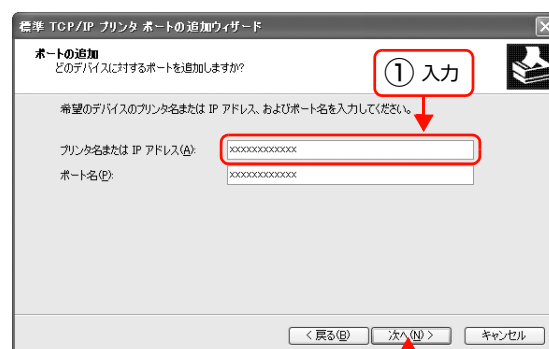
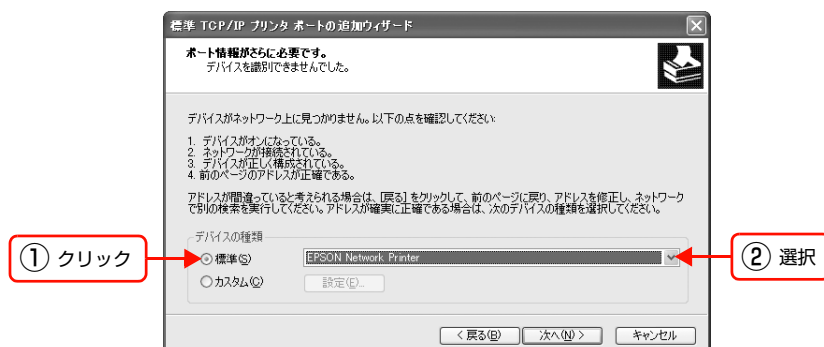
ここでは、標準 TCP/IP 印刷（Standard TCP/IP）の設定手順を説明します。

1　［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
Windows 2000：［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック
Windows Vista：［ ］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

2　［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。
Windows 2000：［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック
Windows Vista：［プリンタのインストール］をクリック

3 **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックします。**

Windows 2000：
［ローカルプリンタ］を選択
［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリック
Windows Vista：
［ローカルプリンタを追加します］をクリック

4 **［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。**

Windows Vista：
手順 6 に進む

5 **［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリックします。**

6 **［プリンタ名または IP アドレス］項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。**

［ポート名］は自動的に入力される文字列のままで、変更する必要はありません。
Windows Vista：
［ホスト名または IP アドレス］項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックしたら手順 8 に進む

参考 何らかの理由で本製品が正しく検出できなかったときに以下の画面が表示されます。このようなときは、[標準]を選択し、[EPSON Network Printer]を選択します。

7 [標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

8 [ディスク使用]をクリックして、本製品のソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

9 CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。

CD-ROM ドライブまたは以下のフォルダを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダ
Windows 2000/XP/Vista	WINVISTA_XP_2K
Windows XP Professional x64/Vista x64	WINVISTA_XP64

本製品のソフトウェア CD-ROM によっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。

以上で終了です。

Windows Vista をお使いの場合は、以下のページを参照して標準 TCP/IP ポートの設定をしてください。
☞ 本書 30 ページ「標準 TCP/IP ポートの設定(Windows Vista)」

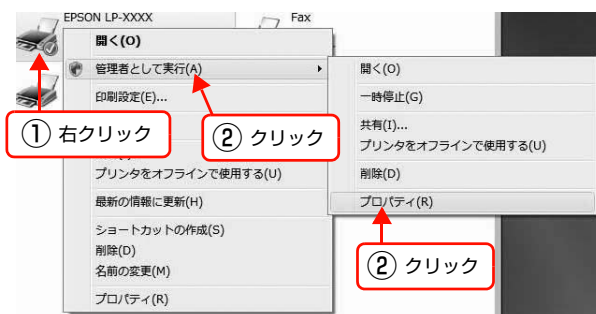
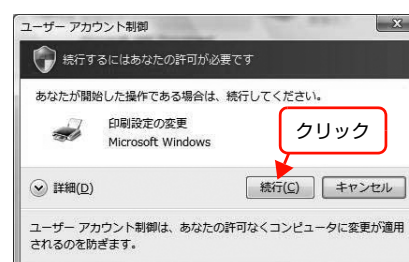
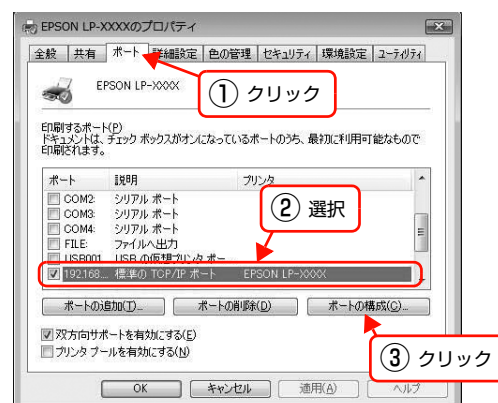
Windows Vista 以外をお使いの場合は、設定したコンピュータをプリントサーバ、プリンタを共有プリンタとして使用するときは、以下のページを参照してください。
☞ 本書 66 ページ「プリンタを共有するには」

標準 TCP/IP ポートの設定（Windows Vista）

Windows Vista 環境で、標準 TCP/IP ポートを使用してネットワーク印刷をするときは、以下の設定をする必要があります。この設定がされていないと正しく印刷できないことがあります。

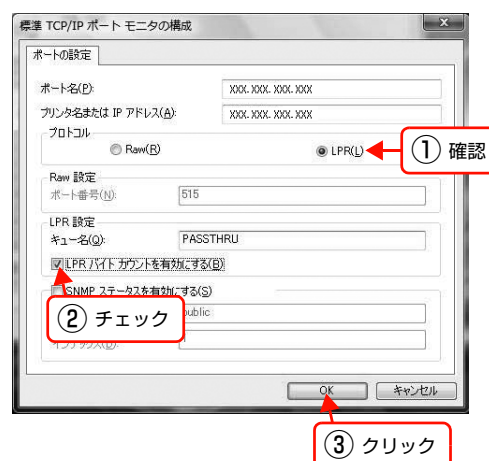
1 ［ ］－［コントロールパネル］をクリックします。

2 コントロールパネルの画面が表示されたら、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。

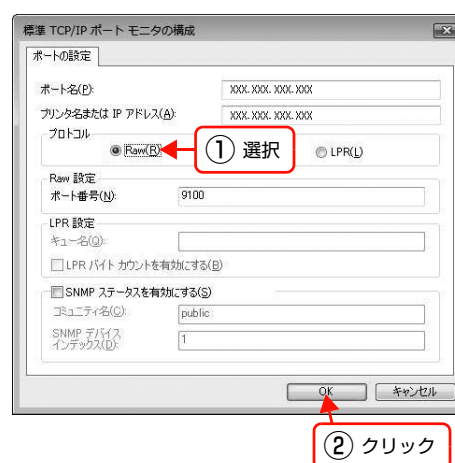
3 対象プリンタのアイコンを右クリックして、［管理者として実行］－［プロパティ］をクリックします。

右の画面が表示されたときは、［続行］をクリックします。

4 ［ポート］タブをクリックし、［標準の TCP/IP ポート］を選択して、［ポートの構成］をクリックします。

5 プロトコルを設定します。

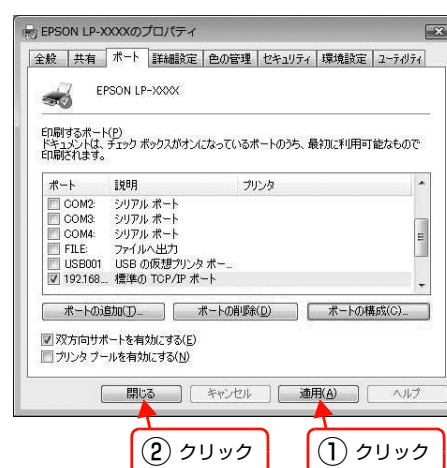
LPR バイトカウントを有効にする場合

プロトコルで［LPR］をチェックし、LRP 設定の［LPR バイトカウントを有効にする］にチェックして、［OK］をクリックします。

LPR バイトカウントを有効にする

RAW 形式に設定する場合

プロトコルで［RAW］をチェックして、［OK］をクリックします。

RAW 形式に設定する

6 ［閉じる］をクリックします。

［適用］ボタンが選択可能になっているときは［適用］をクリック後、［閉じる］をクリックします。

以上で終了です。

設定したコンピュータをプリントサーバ、プリンタを共有プリンタとして使用するときは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 66 ページ「プリンタを共有するには」

EPSON TCP/IP、Bonjour、Rendezvous で印刷する（Mac OS X）

プリンタドライバをインストールした後に、本製品を追加します。印刷プロトコルは、EPSON TCP/IP、Bonjour（Mac OS X v10.4 以降）、Rendezvous（Mac OS X v10.3.9）の中から選択できます。

1 **コンピュータに、ソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2 **［Mac OS X］アイコンをダブルクリックします。**

3 **［カスタムインストール］をクリックします。**

4 **［プリンタドライバ：ネットワーク（LAN）接続］の左のボタンをクリックします。**

5 **画面の指示に従ってインストールを進めます。**
インストールが終了したら［完了］をクリックして設定画面を終了します。
次に本製品を追加します。

6 **［プリントとファクス］（Mac OS X v10.5）/［プリンタリスト］（Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x）を表示します。**
Mac OS X v10.5：アップルメニューの［システム環境］－［プリントとファクス］の順にクリック
Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：［Macintosh HD］アイコン－［ユーティリティ］フォルダー［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンの順にダブルクリック

7 **本製品を追加します。**
Mac OS X v10.5：［プリントとファクス］画面の［+］をクリック
Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］をクリック

8 **リストから本製品を選択して［追加］をクリックします。**
印刷プロトコルと選択する接続については、下表を参照してください。

使用プロトコル	選択する接続または項目
TCP/IP	EPSON TCP/IP または TCP/IP
Bonjour	Bonjour
Rendezvous	Rendezvous

以上で終了です。

設定したコンピュータをプリントサーバ、プリンタを共有プリンタとして使用するときは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 66 ページ「プリンタを共有するには」

5 困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明します。

設定や印刷に関するトラブル

ネットワーク設定ができない / ネットワーク印刷ができない

TCP/IP で使用するときは、コンピュータとプリンタが通信できていますか？

本書の「PING コマンドによる通信確認方法」を参照して、通信できているか確認してください。

本書 77 ページ「PING コマンドによる通信確認方法」

通信できていないときは、以下の「ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？」や「TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？」を参照してください。

ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？

本製品の電源が入っていて、本製品を接続しているハブの、ポートのリンクランプが点灯または点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯しているときは、以下のことを確認してください。

- ほかのポートに接続してみる
- ほかのハブに接続してみる
- LAN ケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、本製品が故障している可能性があります。プリンタの取扱説明書を参照してください。

TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？

工場出荷時［192.168.192.168］のままでは使用できません。この IP アドレスを使用するには、工場出荷時の値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力すると使用できます。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

Windows 環境のプリンタ共有で使用していますか？

プリントサーバの中間スプールフォルダを変更してみてください。
変更手順は以下の通りです。

プリントサーバに Windows を使っているときは、プリンタの中間スプールフォルダを以下の通りに設定してください。
① ハードディスクに十分な空き容量を確保して、任意のフォルダを作成します
② Windows の場合は、そのフォルダをどのユーザーでも使えるようにします
③ そのフォルダを、中間スプールフォルダとして設定します

設定方法の詳細は、プリンタドライバ［動作環境設定］のヘルプを参照してください。
これによって、クライアントから送られた印刷データをプリントサーバでスプール（一時的に保存）して共有プリンタに印刷できるようになります。

Windows で中間スプールフォルダをどのユーザーからでも処理できるように、フォルダの共有化が必要です。さらに、そのフォルダへのアクセス権（またはアクセス許可）はすべてのユーザー（Everyone）に設定して、フルコントロールを［許可］（またはアクセス許可のレベルを［共同所有者］）の状態にしてください。設定方法の詳細は、各 OS の取扱説明書を参照してください。

設定する IP アドレスがわからない

本書の「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」を参照してください。

ネットワーク管理者がいるときは、管理者に確認してください。

本書 63 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

設定した IP アドレスが変わってしまう

操作パネルの IP アドレス設定が自動になっていませんか？

自動にすると、プリンタの電源を入れるたびに IP アドレスが変わってしまいます。自動で利用するときは、プリンタの電源を入れる順番を決めるか、電源を常時入れておいてください。

☞ プリンタの取扱説明書

ルータなどで DHCP 機能を使用していませんか？

DHCP 機能で本製品に IP アドレスを設定すると、プリンタの電源を入れるたびにコンピュータに設定したプリンタポートを変更しなければなりません。

以下のいずれかの方法で本製品に固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

- DHCP機能を持つ機器のスコープ（クライアントに割り当てるIPアドレスの範囲）の範囲外のIPアドレスを設定する。
- DHCP 機能を持つ機器のバインドを使用して、本製品を特定する。
- DHCP 機能を持つ機器で除外アドレスに設定する。

- スコープ範囲、バインド、除外アドレスなどの設定方法は、ルータなど DHCP 機能を持つ機器の取扱説明書を参照してください。
- 本製品をダイヤルアップルータ使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

ただし、EpsonNet Print によるプリンタポートの設定や EPSON TCP/IP、Bonjour、Rendezvous 印刷では DHCP 機能をお使いいただけます。

同梱のソフトウェア使用時のトラブル

EpsonNet Config(Windows/Web)が起動または設定できない

ソフトウェアインストール後に、プロトコルやサービスを変更しましたか？

EpsonNet Config（Windows）のインストール後に、コンピュータでプロトコルやサービスの、追加または削除をすると、EpsonNet Config（Windows）が起動しなくなります。コンピュータのプロトコルやサービスを追加または削除したときは、EpsonNet Config（Windows）を削除後、再インストールしてください。

☞ 本書 61 ページ「EpsonNet ソフトウェアの削除方法」
☞ 本書 17 ページ「EpsonNet Config をインストールする」」

コンピュータにネットワーク設定をしていますか？

コンピュータにネットワーク設定をしていないと、「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet Config（Windows）を使用することはできません」というメッセージが表示されます。

このメッセージは、以下のようなときに表示されます。

- コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれていない
- コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれているが、IP アドレスが正しく設定されていない
- コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれており、各種アドレスを自動取得する設定になっているが、DHCP サーバが応答していない

表示されたメッセージで［OK］をクリックすると EpsonNet Config（Windows）を起動できますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピュータのネットワーク設定をしてください。

☞ 本書 10 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

本製品に IP アドレスを設定していますか？

EpsonNet Config（Web）を起動するには、先に EpsonNet Config、または本製品の操作パネルで IP アドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートの［IP Address］欄で確認できます。

☞ プリンタの取扱説明書

設定ソフトウェア起動時に製品名 /IP アドレスが表示されない

[Windows セキュリティの重要な警告] 画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする] や［遮断する］を選択しましたか？

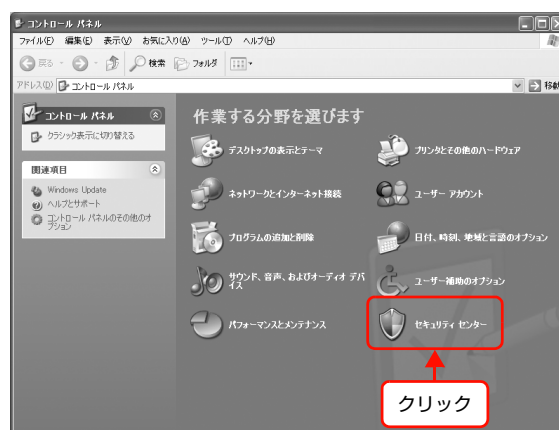
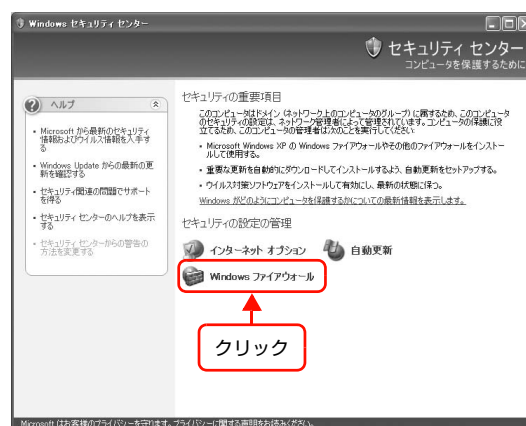
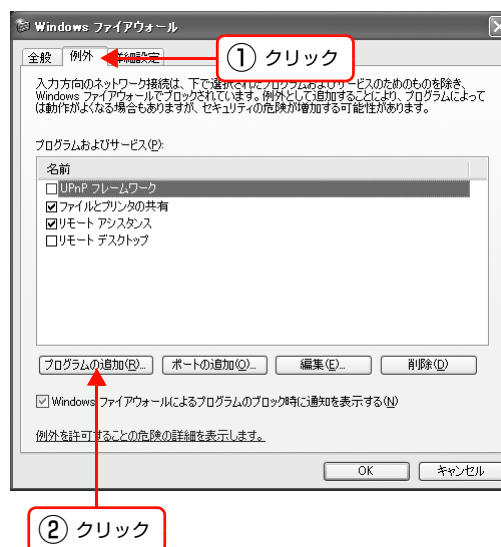
［ブロックする］や［遮断する］を選択すると、通信ができなくなるため EpsonNet EasyInstall（Windows）または EpsonNet Config（Windows）で製品名が表示されません。
通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで例外アプリケーションとして登録してください。

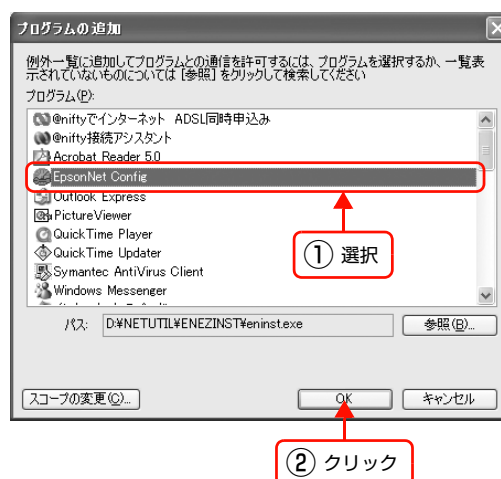
市販のセキュリティソフトの中には、以下の作業をしても表示できないことがあります。そのときは、市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本ソフトウェアを使用してみてください。

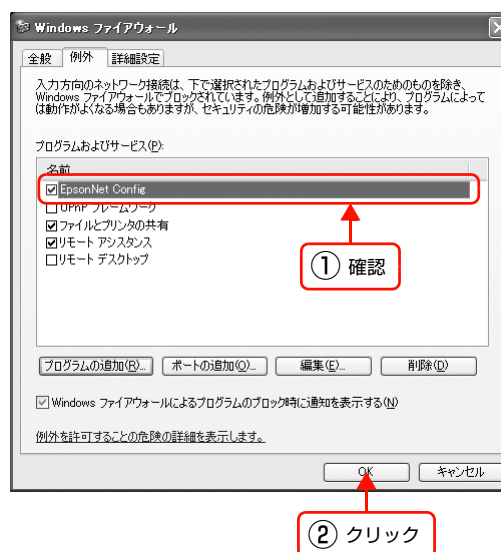
> **!重要**　Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピュータウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。
> 弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

1　**[スタート]（または ）－［コントロールパネル］の順にクリックします。**

2　**[セキュリティセンター］をクリックします。**

Windows Vista：
① [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリック
② [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されるので［続行］をクリック
③ 手順 4 に進む

3　**[Windows ファイアウォール] をクリックします。**

4 **［例外］タブをクリックして、［プログラムの追加］をクリックします。**

5 **［EpsonNet Config］を選択して［OK］をクリックします。**

EpsonNet EasyInstall（Windows）のときは、本製品のソフトウェア CD-ROM 内の［EpsonNetEasyInstall.exe］を選択してください。ソフトウェア CD-ROM を参照するには、CD-ROM をコンピュータにセットして［参照］をクリックしてください。

6 **［EpsonNet Config］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックが付いていることを確認したら、［OK］をクリックします。**

EpsonNet EasyInstall（Windows）のときは、［EpsonNetEasyInstall.exe］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックが付いていることを確認したら、［OK］をクリックします。

以上で終了です。

IP アドレスを工場出荷時から変更していますか？
ネットワークインターフェイスの IP アドレスが工場出荷時のままだと、［モデル名］と［IP アドレス］が表示されないことがあります。［モデル名］と［IP アドレス］が表示されなくてもネットワークインターフェイスの設定はできますが、この場合は MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートの［MAC Address］欄で確認できます。ネットワークインターフェイスを設定すると、正しく表示されるようになります。
☞ プリンタの取扱説明書

［通信エラーとする時間］を変更してみてください。
EpsonNet Config（Windows）の［ツール］－［オプション］－［タイムアウト］で、［通信エラーとする時間］を大きい値に変更してみてください。ただし、EpsonNet Config（Windows）の動作が遅くなる（検索に時間がかかります）ため注意してください。
☞ 本書 19 ページ「設定方法」

EpsonNet Print を使って印刷すると、ダイヤルアップ接続画面が表示される

インターネットへの接続設定がダイヤルアップ接続になっていませんか？
メッセージ画面でキャンセルを選択するとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

印刷に時間がかかる

印刷するデータによっては、印刷が始まるまでに時間がかかります。
この場合、プリンタドライバの「逆順印刷」をオフにすると、印刷が始まるまでの時間を短縮できることがあります。
☞ プリンタの取扱説明書

6 その他の便利な機能の紹介

ここでは、本製品のソフトウェア CD-ROM に収録の各ソフトウェアの詳細や、エプソンのネットワークソフトウェアを説明します。

EpsonNet ソフトウェアのご案内

ここでは、本製品で使用できる各種ネットワーク関連のソフトウェアを紹介します。

印刷用ソフトウェア

Windows でネットワーク印刷をするときに使用するソフトウェアです。OS 標準搭載の印刷方法以外で印刷するときに使用します。

●直接印刷ソフトウェア（EpsonNet Print）CD-ROM 収録

- スプーラ画面にプリンタのステータスを表示できます。
- IP アドレスを自動追従するため、ネットワークインターフェイスのアドレスが DHCP 機能によって自動的に割り当てられても、プリンタポートの設定変更が不要です。
- ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を LPR プリンタとして使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 /RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選べます。
本書 42 ページ「EpsonNet Print の使い方」

IP アドレスを自動追従させるには、ネットワークインターフェイスの IP アドレス設定を［自動］または［Auto］に設定してください。

設定ソフトウェア

本製品のネットワークインターフェイスの設定を、コンピュータから設定するときに使用するソフトウェアです。

●簡易ネットワーク設定ソフトウェア（EpsonNet EasyInstall）CD-ROM 収録

ウィザード形式で、簡単にアドレスの設定ができるソフトウェアです。本製品のソフトウェア CD-ROM から起動し、画面の指示に従って設定を進めます。
Windows ではアドレス設定後にプリンタドライバと EpsonNet Print をインストールして、直接印刷用のプリンタポートを自動作成します。
Mac OS X ではアドレスの設定のみ行います。
それ以外の項目（DNS サーバの登録や SNMP など）を設定するときは、EpsonNet Config で設定してください。

●ネットワーク設定ソフトウェア（EpsonNet Config）CD-ROM 収録

ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコル（TCP/IP、SNMP）などが設定できるソフトウェアです。
本書 17 ページ「EpsonNet Config で設定する」

●ネットワーク設定ソフトウェア（EpsonNet Config（Web）版）

ネットワークインターフェイスに内蔵されているソフトウェアです。
ネットワーク上のコンピュータで、Web ブラウザから起動します。ネットワークインターフェイス設定（TCP/IP）とプリンタ設定（消耗品の確認、各種の確認・設定）ができます。
EpsonNet Config（Web）は、ネットワークインターフェイスおよびコンピュータに IP アドレスが設定されていないと使えません。初めて設定するときは EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）をお使いください。
本書 52 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

EpsonNet Printの使い方

EpsonNet Print は、ネットワークに接続したエプソン製プリンタに Windows から TCP/IP 直接印刷をするためのソフトウェアです。

本ソフトウェアをインストールしなくても Windows 標準 LPR を使用して TCP/IP 直接印刷ができます。ただし、IP アドレスの自動追従やステータスの表示など、本ソフトウェア固有の機能は使用できません。

動作環境

EpsonNet Print は以下の環境で動作します。

OS	• Windows 2000（Service Pack 4 以降） • Windows XP（Service Pack1 以降） • Windows Vista
表示	解像度：800 × 600 ドット以上
メモリ	64MB 以上
ハードディスク	20MB 以上の空き容量

セットアップの流れ

本ソフトウェアを使用するための手順を説明します。

1

EpsonNet Print のインストール

本ソフトウェアを使用するコンピュータにインストールします。

本書 43 ページ「EpsonNet Print のインストール」

2

コンピュータの設定

本ソフトウェアのプリンタポート「EpsonNet Print Port」を作成してから、プリンタドライバをインストールします。
①プリンタポートの作成
②プリンタドライバのインストール
本製品を共有する手順の詳細は、以下のページを参照してください。
本書 66 ページ「プリンタを共有するには」

セットアップ中の製品探索方法の変更や、印刷データの送信方法を変更するときは、以下のページを参照してください。
本書 48 ページ「その他の機能」

EpsonNet Printのインストール

EpsonNet Printをインストールすると新しいプリンタポート（EpsonNet Print Port）が作成され、ネットワーク直接印刷ができるようになります。
インストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

本文中のソフトウェアCD-ROMの画面は、実際の表示と異なることがあります。
インストールしたソフトウェアの削除は、EpsonNetソフトウェアの削除方法を参照してください。
本書61ページ「EpsonNetソフトウェアの削除方法」

!重要
本ソフトウェアは、旧印刷用ソフトウェアのEpsonNet Direct Print Version1.0またはVersion2.Xと同じコンピュータにインストールできません。
EpsonNet Direct Print Version1.0をお使いの場合は、EpsonNet Direct Printを削除してから本ソフトウェアをインストールしてください。EpsonNet Direct Print Version2.Xをお使いの場合は、本ソフトウェアのインストール中に警告メッセージを表示しますので、画面の指示に従ってEpsonNet Direct Print Version2.Xを削除してください。

1 **コンピュータに本製品のソフトウェアCD-ROMをセットします。**
Windows Vista：［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］で発行元がSEIKO EPSONであることを確認してからクリック

2 **［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリックします。**
Windows Vista：［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックしてから、［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリック

3 **［EpsonNet Print（直接印刷ツール）のインストール］の［ ］をクリックします。**

4 **この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。**

以上でEpsonNet Printのインストールは終了です。

次にコンピュータを設定します。

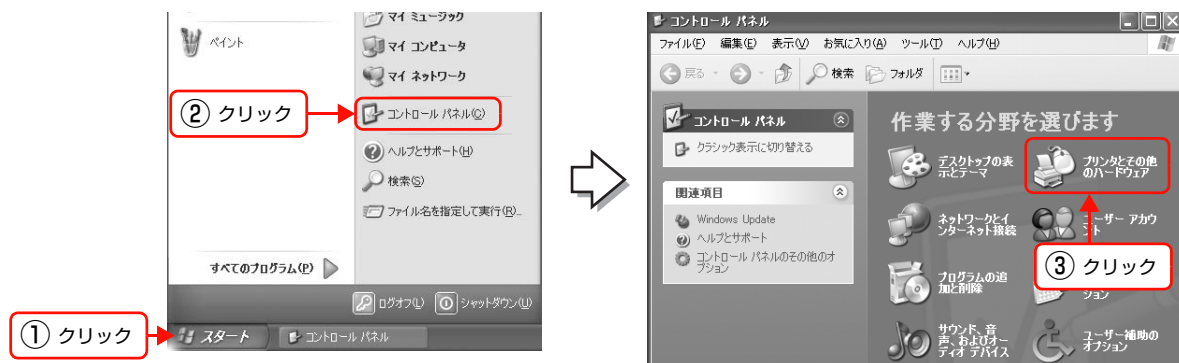
コンピュータの設定

セットアップを始める前に、コンピュータに IP アドレスが設定されていることを確認してください。
本書 10 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

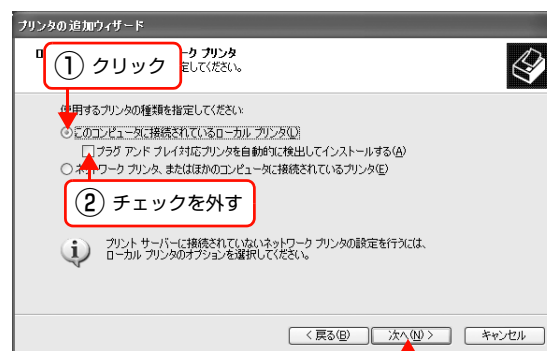
また、本製品に工場出荷時（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されていることも確認してください。本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートを印刷すると確認できます。ネットワークステータスシートの出力方法は、プリンタの取扱説明書を参照してください。

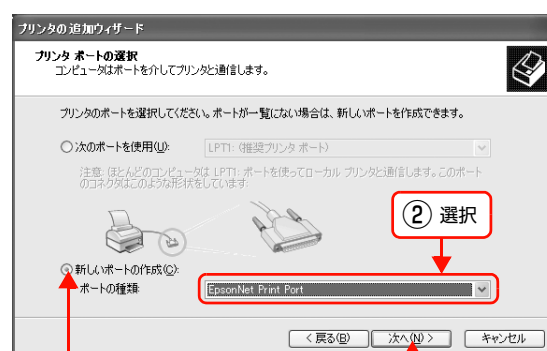
プリンタポートの作成

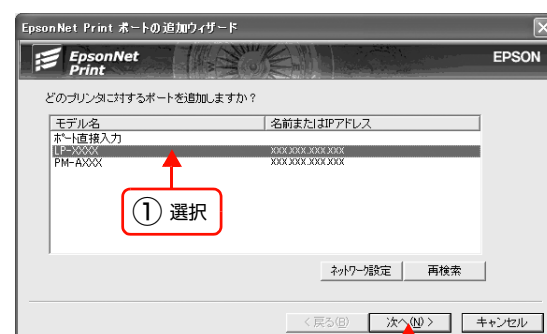
プリンタポート（EpsonNet Print Port）を作成した後、プリンタドライバをインストールします。Windows XP の画面で説明します。

1 **［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**
Windows 2000：［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック
Windows Vista：［ ］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**
Windows 2000：［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック
Windows Vista：［プリンタのインストール］をクリック

3 **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックします。**

Windows 2000：
［ローカルプリンタ］を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外して、［次へ］をクリック
Windows Vista：
［ローカルプリンタを追加します］をクリック

4 **［新しいポートの作成］を選択します。［EpsonNet Print Port］を選択して、［次へ］をクリックします。**

お使いの Windows によっては［Windows セキュリティの重要な警告］画面が表示されます。［ブロックを解除する］をクリックしてください。

5 **本製品を選択して、［次へ］をクリックします。**

本製品が表示されないときは、プリンタの電源が入っているか確認して［再検索］をクリックするか、［ポート直接入力］をクリックしてアドレスを指定してください。

- ［ポート直接入力］の詳細は、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 49 ページ「アドレスを直接指定する」
- 別セグメントのネットワークプリンタを指定するときは、［ネットワーク設定］をクリックして設定します。
  ☞ 本書 48 ページ「探索方法を変更する」
- ［ネットワーク設定］をクリックして設定を変更したときやポートの追加中にプリンタの電源を入れたときは、［再検索］をクリックしてください。
- 手順 4 で表示された［Windows セキュリティの重要な警告］画面で［ブロックする］を選択したときは、コンピュータと同じセグメントにあるネットワークアドレスのプリンタのみを表示します。異なるネットワークアドレスのプリンタを表示するときは、［コントロールパネル］の［Windows ファイアウォール］で設定を変更してください。

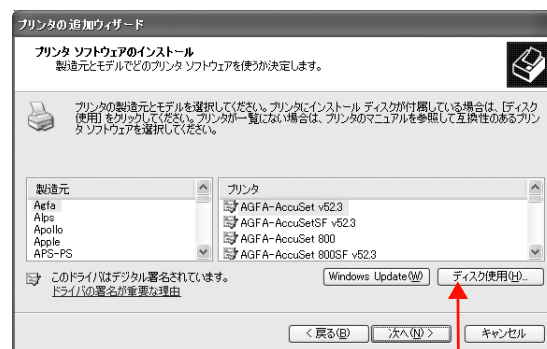
6 **画面の内容を確認して、[完了]をクリックします。**
[ポートタイプ選択]でポートタイプを選択できます。通常は変更する必要はありません。
各項目の説明は、下表を参照してください。

項目名		内容
[ポートタイプ選択]		作成するポートのタイプを選択できます。ネットワークインターフェイスの設定に応じて、以下の項目が選択できます。
	IP アドレス(自動)	使用するコンピュータとプリンタが同一セグメント内にあり、ネットワークインターフェイスの[IP アドレスの設定方法]が[自動]のときに選択することをお勧めします。 ネットワークインターフェイスの IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス(固定)	ネットワークインターフェイスが固定アドレスのときに選択することをお勧めします。
	DNS 登録名	DNS サーバにネットワークインターフェイスのホスト名を登録しているときに選択できます。
ポート名		[ポートタイプ選択]リストで選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス(自動)] :ホスト名(ネットワークインターフェイス名 EPXXXXXX):プリンタ名 [IP アドレス(固定)] :IP アドレス:プリンタ名 [DNS 登録名] :ホスト名(DNS 登録済み):プリンタ名
モデル名		プリンタ名を表示します。
名前または IP アドレス		[ポートタイプ選択]リストで選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス(自動)] :EP+MAC アドレス [IP アドレス(固定)] :IP アドレス [DNS 登録名] :ホスト名(DNS 登録済み)
プロトコル		使用プロトコル(拡張 LPR)を表示します。

プリンタドライバのインストール

1. **本製品のソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2. **画面が表示されたら、[インストール中止] をクリックして画面を閉じてください。**

3. **[プリンタの追加ウィザード] または [プリンタウィザード] 画面で [ディスク使用] をクリックします。**

4. **CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。**
CD-ROM ドライブまたは以下のフォルダを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダ
Windows 2000/XP/Vista	WINVISTA_XP_2K
Windows XP Professional x64/Vista x64	WINVISTA_XP64

- 本製品のソフトウェア CD-ROM によっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。
- 本製品をネットワーク共有する手順の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 66 ページ「プリンタを共有するには」

以上で終了です。

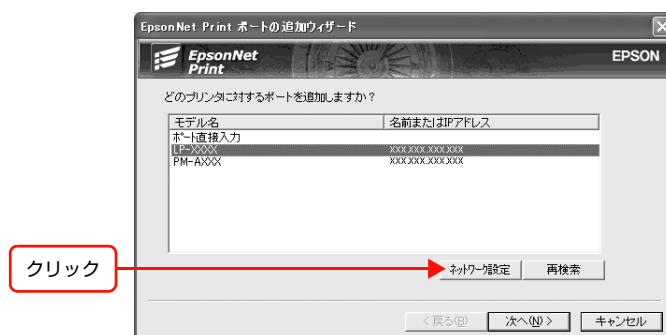
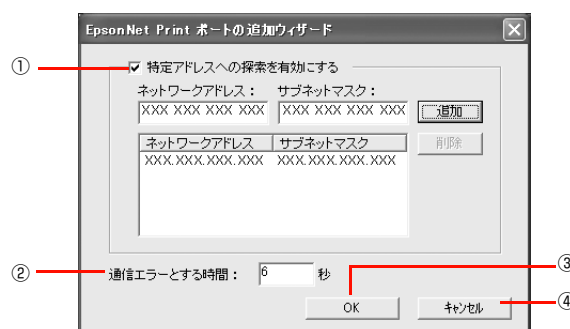
EpsonNet Print のその他の詳しい設定をするときは、以下のページに進んでください。
☞ 本書 50 ページ「印刷方式を変更する」

その他の機能

探索方法の詳細設定や印刷データの送信方法などを設定できます。

探索方法を変更する

画面の表示方法

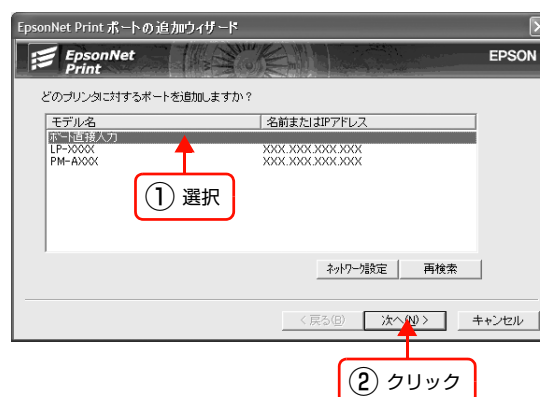
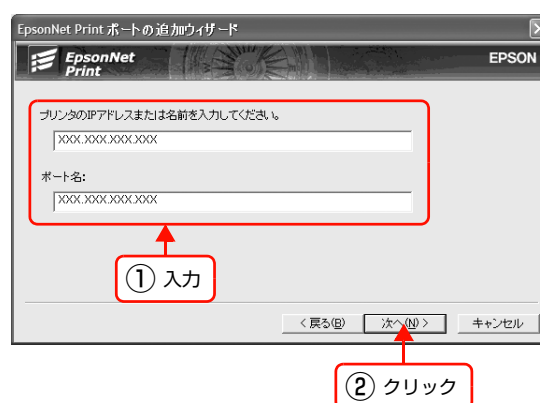
［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］の［ネットワーク設定］をクリックすると表示されます。

項目の説明

	項目名		内容
①	特定のアドレスへの探索を有効にする		チェックを付けると指定したセグメント内のエプソン製プリンタを探索できます。［ネットワークアドレス］と［サブネットマスク］を入力して、［追加］をクリックします。
		ネットワークアドレス	探索するセグメントの IP アドレスを入力します。 例）192.168.2.0
		サブネットマスク	探索するセグメントのネットワークアドレスのクラスに応じたサブネットマスクを入力します。 例）255.255.255.0
		［追加］	入力されたネットワークセグメント（ネットワークアドレスとサブネットマスク）を一覧に追加します。
		［削除］	一覧で選択された項目を削除します。
②	通信エラーとする時間		エプソン製プリンタに対してパケットを発信してから、返信が届くまでの待機時間を 2 ～ 120（初期値は 6）までの間で設定します。ここで設定した時間を超えて返信がないときはエラーになります。
③	［OK］		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］		設定を取り消して、画面を閉じます。

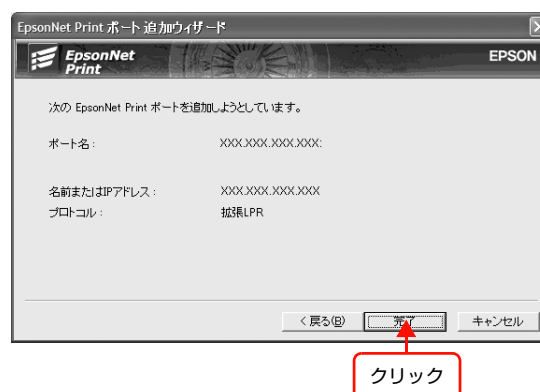
EpsonNet Print をインストールしたコンピュータがクラス B ネットワークアドレス（128.0.0.0 ～ 191.255.255.255）で設定されていると、クラス C ネットワークアドレス（192.0.0.0 ～ 223.255.255.255）で設定したネットワークプリンタが検索されないことがあります。このようなときはプリンタの IP アドレスを直接入力してポートを作成してください。
本書 49 ページ「アドレスを直接指定する」

アドレスを直接指定する

本製品に固定アドレスを設定している場合や、ローカルエリアネットワークの事情でネットワークプリンタの検索でも本製品が表示されない場合は、［ポート直接入力］を使用してポートを作成します。ここでは、Windows XP の画面で説明します。

！重要　アドレスを自動取得しているときは、この機能を使用しないでください。

1　**［ポート直接入力］を選択して、［次へ］をクリックします。**

2　**下表を参照し、各項目を入力して［次へ］をクリックします。**

項目名	内容
プリンタのIPアドレスまたは名前を入力してください。	プリンタを指定するための IP アドレス / ホスト名 /FQDN のいずれかを、半角英数 127 文字以内で入力します。
ポート名：	［プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。］に入力した文字列に「：」を付加し、自動的に表示します。

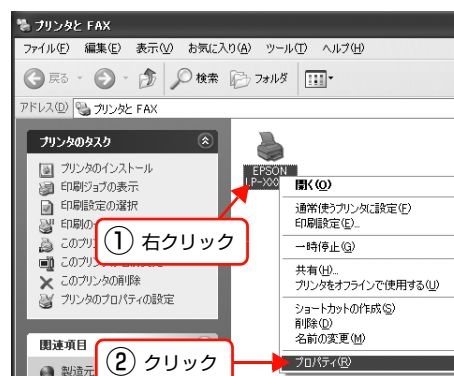
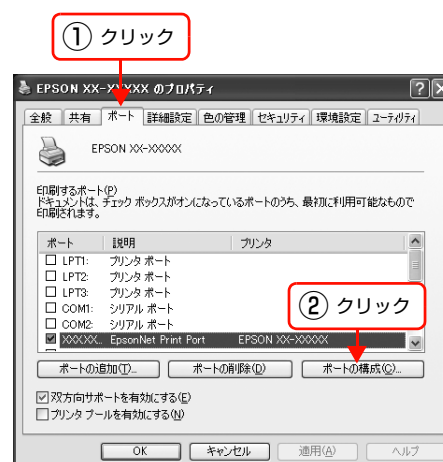
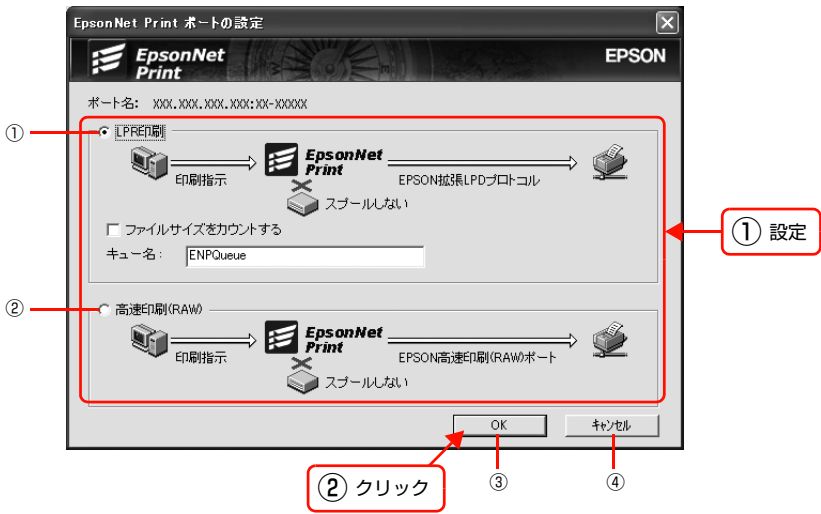
3　**画面の内容を確認して、［完了］をクリックします。**

以上で終了です。

印刷方式を変更する

印刷データの送信方法などが設定できます。

1 **［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。**

Windows 2000：［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック
Windows Vista：［ ］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

2 **プリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

3 **プロパティの画面で、［ポート］タブの［ポートの構成］をクリックします。**

4 印刷方式を選択して、[OK] をクリックします。

項目名		内容
①	LPR 印刷	EPSON 拡張 LPD プロトコル（拡張印刷）を使用して、印刷データを直接プリンタに送信します。「ファイルサイズをカウントする」にチェックを付けるとより高速に印刷できます。
	ファイルサイズをカウントする	チェックを付けると、LPD プロトコルを使用して、印刷データをコンピュータに一旦スプールしてからプリンタに送信します。
	キュー名	印刷キューに名前を付けられます。 通常は変更する必要はありません。
②	高速印刷（RAW）	最も高速に印刷するときに選択します。 LPR 印刷で使用する LPD プロトコルを使わずに印刷します。
③	［OK］	設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］	設定を取り消して、画面を閉じます。

以上で終了です。

EpsonNet Config(Web)の使い方

EpsonNet Config (Web) は、Web ブラウザからネットワークインターフェイスおよびプリンタを設定するソフトウェアです。また本製品の操作パネルで行う各種項目も、本ソフトウェア経由で設定できます。

動作環境

EpsonNet Config（Web）は、下表の Web ブラウザが動作するコンピュータで使用できます。

対応 Web ブラウザ	• Internet Explorer Ver.4.0 以降 • Netscape Navigator Ver.6.2 以降 • Apple Safari Ver.1.2 以降

Web ブラウザの設定に関する注意

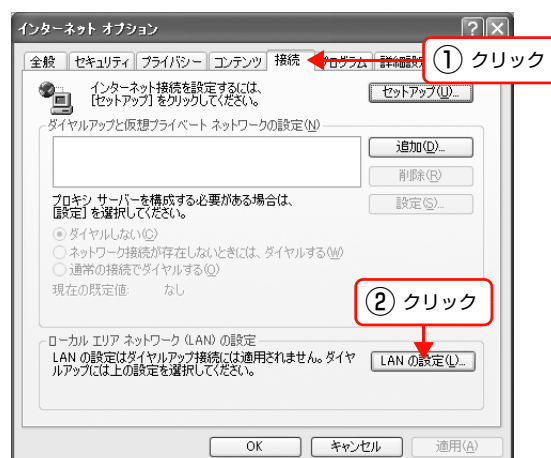
プロキシサーバを使用する場合と使用しない場合で、Web ブラウザの設定が異なります。

ここでは Windows XP 版の Internet Explorer 6.0 を例に、プロキシサーバを使用する場合と使用しない場合の設定を合わせて説明します。

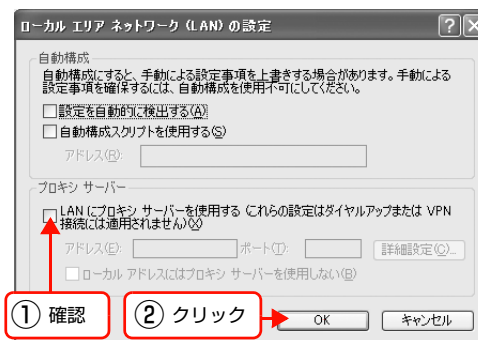
Web ブラウザが Safari でプロキシサーバを使用するときは、以下を参照して［システム環境設定］－［ネットワーク］－［プロキシ］の設定をしてください（プロキシサーバを使用しないときは、設定する必要はありません）。
例：
ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0 の場合：192.168.1.*
ローカルアドレス 192.168.xxx.xxx、サブネットマスク 255.255.0.0 の場合：192.168.*.*

1 **Internet Explorer を起動します。**

2 **［ツール］－［インターネットオプション］をクリックします。**
Internet Explorer 4.0：［表示］－［インターネットオプション］をクリック

3 **［接続］タブをクリックして、［LAN の設定］をクリックします。**
Internet Explorer 4.0：
［接続］タブをクリックしたら手順 4 へ進む

4 **プロキシサーバを使う場合、使わない場合ごとに設定を確認します。**

プロキシサーバを使用する：
［LAN にプロキシサーバーを使用する］にチェックを付ける
プロキシサーバを使用しない：
［LAN にプロキシサーバーを使用する］のチェックを外す

- Internet Explorer 5.X：
  ［プロキシサーバーを使用する］を確認
- Internet Explorer 4.0：
  ［プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス］を確認

以上で終了です。

起動

EpsonNet Config（Web）のインストールは不要です。ただし、以下の設定をしておいてください。

①設定に使うコンピュータへの IP アドレス設定
☞ 本書 10 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

②設定に使うコンピュータへの Web ブラウザのインストール
☞ 本書 52 ページ「動作環境」

③ネットワークインターフェイスへの IP アドレス設定
☞ 本書 15 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

	EpsonNet Config と EpsonNet Config（Web）から、同時に同じネットワークインターフェイスに対して設定しないでください。

参考	お使いの Web ブラウザによっては、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いの Web ブラウザおよび OS の取扱説明書を参照してください。

Web ブラウザから起動

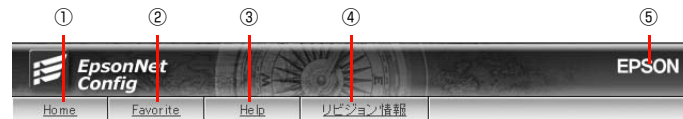
Windows の場合は Web ブラウザを起動しネットワークインターフェイスの IP アドレスをアドレスバーに入力して、［Enter］または［return］キーを押します。
このとき、EpsonNet Config は起動しないでください。

書式）http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス /
例）http://192.168.100.201/

	IP アドレスを自動取得にしているときは、IP アドレスが変わることがあります。以前に入力した IP アドレスやブックマークなどを利用して指定しても EpsonNet Config（Web）が起動できないときは、操作パネルまたはネットワークステータスシートで本製品の IP アドレスを確認してください。

各項目の説明

インデックスとメニューの詳細を説明します。各メニューの詳細は、EpsonNet Config（Web）のヘルプを参照してください。

インデックスメニュー

① Home

オープニング画面の［基本情報］が表示されます。

② Favorite

［管理者情報］で設定されたリンク先が表示されます。この項目名［Favorite］は［オプション］－［管理者情報］の［お気に入り名］で変更できます。

③ Help

ヘルプが表示されます。

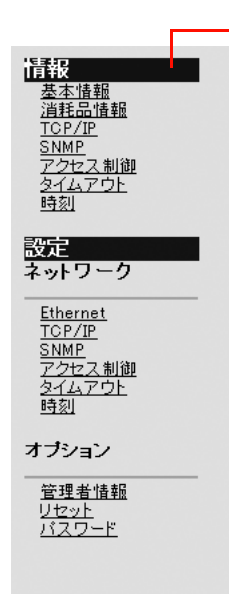
④リビジョン情報

リビジョン情報が表示されます。

⑤ EPSON

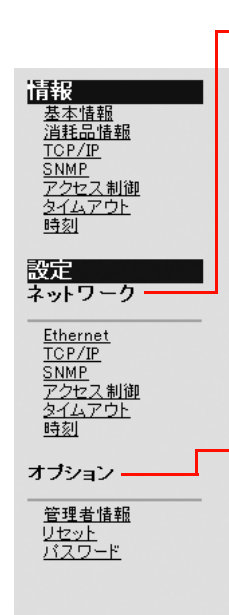
エプソンのホームページが別ウィンドウで表示されます。

[情報] メニュー

プリンタとネットワークインターフェイスの設定状況が確認できます。

情報

項目	内容
基本情報	ネットワークインターフェイスとプリンタの情報が表示されます。
消耗品情報	消耗品の使用状況を表示します。
TCP/IP	TCP/IP の設定情報を表示します。
SNMP	SNMP の設定情報を表示します。
アクセス制御	アクセス制限の設定情報を表示します。
タイムアウト	タイムアウトの設定情報を表示します。
時刻	時刻の設定情報を表示します。

[設定] メニュー

プリンタ、ネットワークインターフェイス、オプションの項目ごとに設定できます。

ネットワーク

項目	内容
Ethernet	通信速度と通信モードを設定します。
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。
アクセス制限	アクセス制限するための項目を設定します。
タイムアウト	タイムアウトの値を設定します。
時刻	時刻に関する設定をします。

オプション

項目	内容
管理者情報	管理者名と、インデックスの［Favorite］からリンクする任意の URL などを設定します。
リセット	本製品を工場出荷時に戻します。
パスワード	ネットワークインターフェイスの設定を保護するために、パスワードを設定します。

プリンタ情報確認機能（Windows のみ）

プリンタをネットワークに接続しただけで、各 OS からプリンタの情報が確認できる機能があります。これをユニバーサルプラグアンドプレイ機能といいます。ユニバーサルプラグアンドプレイを使用するには、コンポーネントのインストールとネットワークインターフェイスの設定が必要です。

☞ 本書 58 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイのインストール」

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

デバイスアイコンの自動表示

プリンタ（ネットワークインターフェイス）をネットワークに接続するだけで、［マイネットワーク］画面にデバイスアイコンが表示されます。

プリンタ情報の表示

自動表示されたデバイスアイコンをダブルクリックすると、プリンタの簡易情報が表示されます。

プリンタの簡易情報表示には、Web ブラウザを使用します。Web ブラウザは、Windows に標準で組み込まれているものが使用できます。

☞ 本書 52 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

＜例＞

ネットワークインターフェイス情報の表示

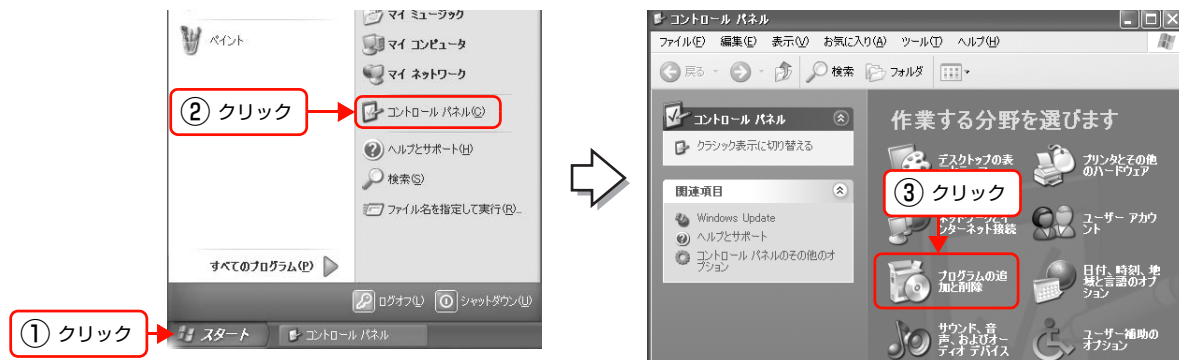
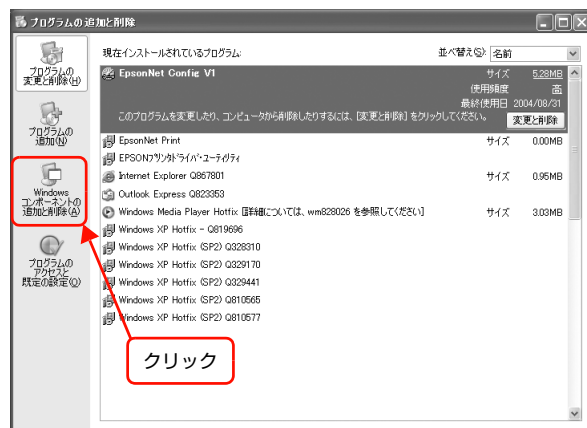
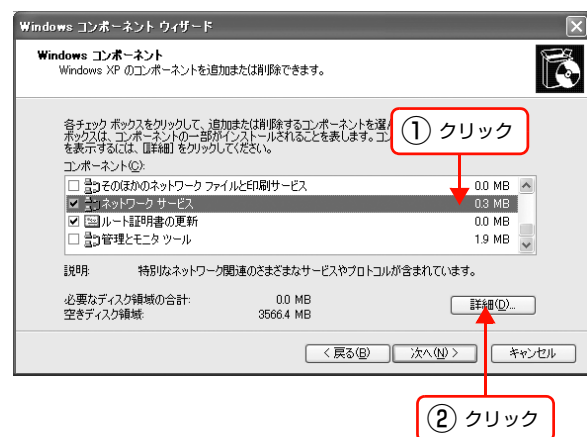
自動表示されたデバイスアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択すると、ネットワークインターフェイスの簡易情報（IP アドレスなど）が確認できます。

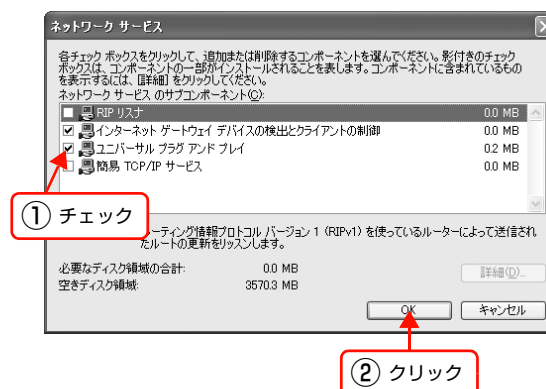
IP アドレスの自動設定

セグメント内で適切な IP アドレスが自動的に割り当てられる（DHCP サーバまたは UPnP の機能によって、ネットワークインターフェイスの IP アドレスが自動的に設定される）ため、ネットワークインターフェイスの IP アドレス設定が不要です。
ただし、TCP/IP 印刷をするときは、手動で IP アドレスを設定することをお勧めします。

ユニバーサルプラグアンドプレイのインストール

Windows XP を例にして説明します。Windows Vista でのインストールは不要です。

1 ［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］をクリックします。

2 ［Windows コンポーネントの追加と削除］をクリックします。

3 コンポーネントから［ネットワークサービス］を選択して、［詳細］をクリックします。

4 **[ユニバーサルプラグアンドプレイ] または [UPnP ユーザーインターフェイス] にチェックを付けて、[OK] をクリックします。**

チェックが付いているときはインストール済みですので、[キャンセル] をクリックしてください。

5 **[次へ] をクリックします。**

インストールが始まります。

Windows を CD-ROM からセットアップした場合は、その CD-ROM をコンピュータにセットすることを要求するメッセージが表示されます。

6 **インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。**

7 **プリンタのネットワークインターフェイスの設定でユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にします。**

ネットワークインターフェイスのユニバーサルプラグアンドプレイ機能は、工場出荷時は無効になっています。使用するには、EpsonNet Config（Windows）または EpsonNet Config（Web）から設定してください。

☞ 本書 15 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

以上で終了です。

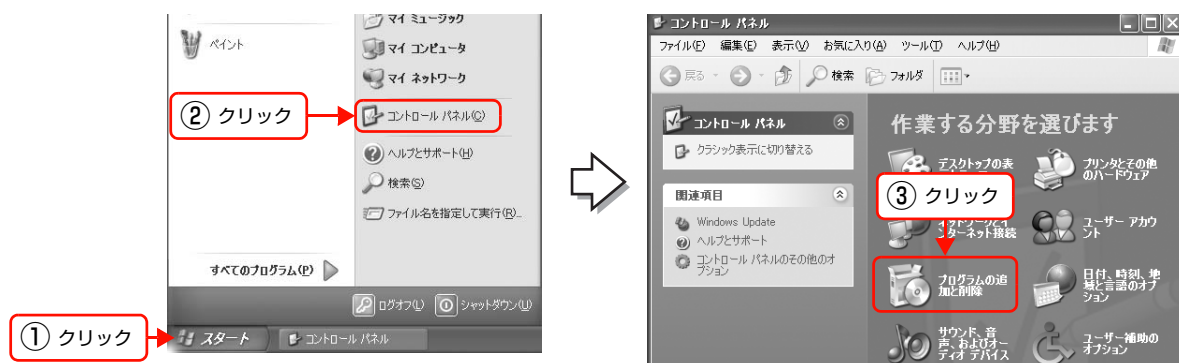
7 付録

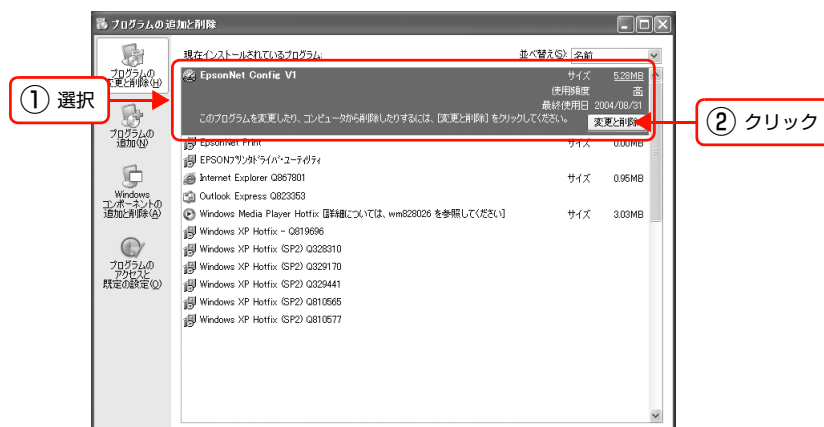
EpsonNet ソフトウェアの削除方法

削除するには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

Windows

1 **[スタート] ー [コントロールパネル] の順にクリックして、[プログラムの追加と削除] をクリックします。**

Windows 2000：[スタート] ー [設定] ー [コントロールパネル] ー [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリック
Windows Vista：[ ] ー [コントロールパネル] ー [プログラムのアンインストール] の順にクリック

2 **削除するソフトウェアを選択して、[変更と削除] をクリックします。**

Windows Vista：[アンインストール]（または [アンインストールと変更]）をクリックして、[ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリック

3 **この後は、画面の指示に従ってください。**

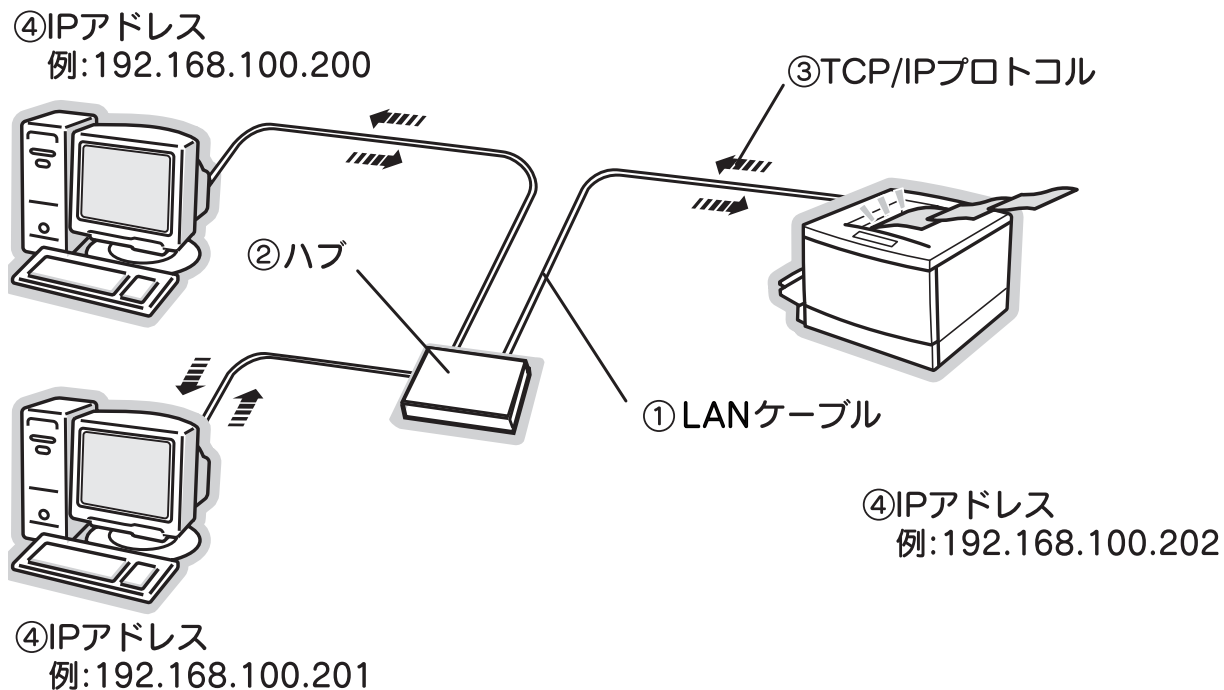
以上で終了です。

Mac OS X

1. コンピュータにソフトウェア CD-ROM をセットします。
2. [Mac OS X] アイコンをダブルクリックします。
3. [ネットワークソフトウェアのインストール] をクリックします。
4. [EpsonNet Config（設定ツール）のインストール] のボタンをクリックします。
5. 表示された画面で [続ける…] をクリックし、ライセンス画面の内容を確認して [同意] をクリックします。
6. 画面上部のリストから [アンインストール] を選択して、[アンインストール] をクリックします。
7. 画面の指示に従ってアンインストールを行います。

以上で終了です。

ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識

プリンタのネットワーク共有に必要なネットワーク環境を説明します。

① LAN(ラン)ケーブル

市販の LAN ケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。ケーブルの接続の規格には 10Base と 100Base があります。本製品のネットワークインターフェイスは、10Base-T（テンベースティー）、100Base-TX（ヒャクベースティーエックス）に対応しています。
本製品のネットワークインターフェイスには、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。

②ハブ(HUB)

LAN ケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のコンピュータやプリンタはハブを介して接続します。

③ TCP/IP(ティーシーピーアイピー)

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり（これをプロトコルといいます）、TCP/IP はその中の 1 つです。インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。ネットワーク上のすべてのコンピュータに組み込む必要があります。

④ IP アドレス(アイピーアドレス)

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、コンピュータをネットワーク上で使用するには、コンピュータ 1 台につき 1 つの識別子（アドレス）が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字の羅列（例：192.168.192.168）で表されます。ネットワーク上のすべてのコンピュータやプリンタに IP アドレスを割り振る必要があります。

☞ 本書 64 ページ「IP アドレスは何番に設定する？」

IP アドレスは何番に設定する？

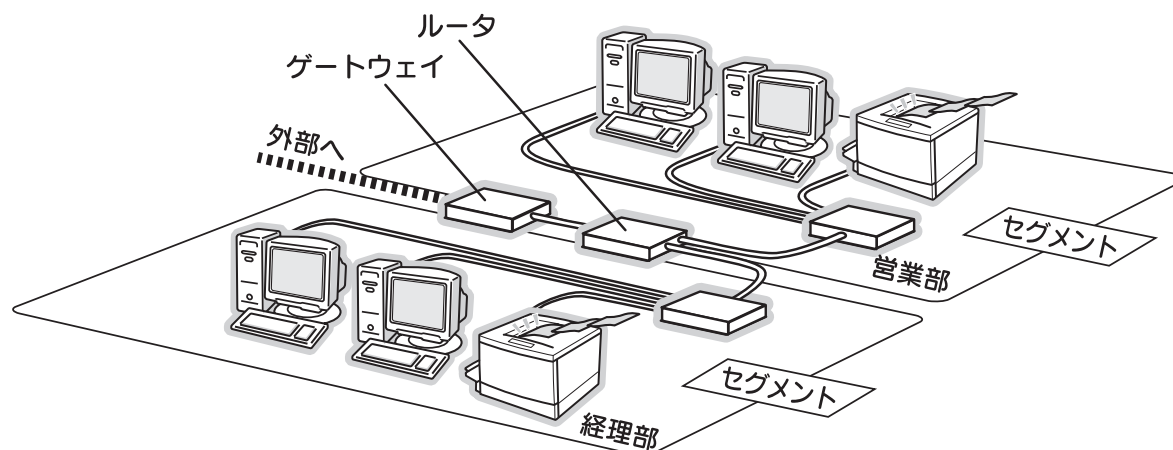
複数のコンピュータで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集中管理されています。外部接続（インターネットへの接続、電子メールの送受信など）をするときには、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/）に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要があります（通常はインターネットサービスプロバイダ（通称 ISP）が代行します）。
ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、以下の範囲のプライベートアドレスが使用できます。

プライベートアドレス	10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
	172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

!重要 本製品のネットワークインターフェイスの工場出荷時の IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、このままでは使用できません。この IP アドレスを使用するときは、一旦消してから同じ値を IP アドレスとして再入力してください。

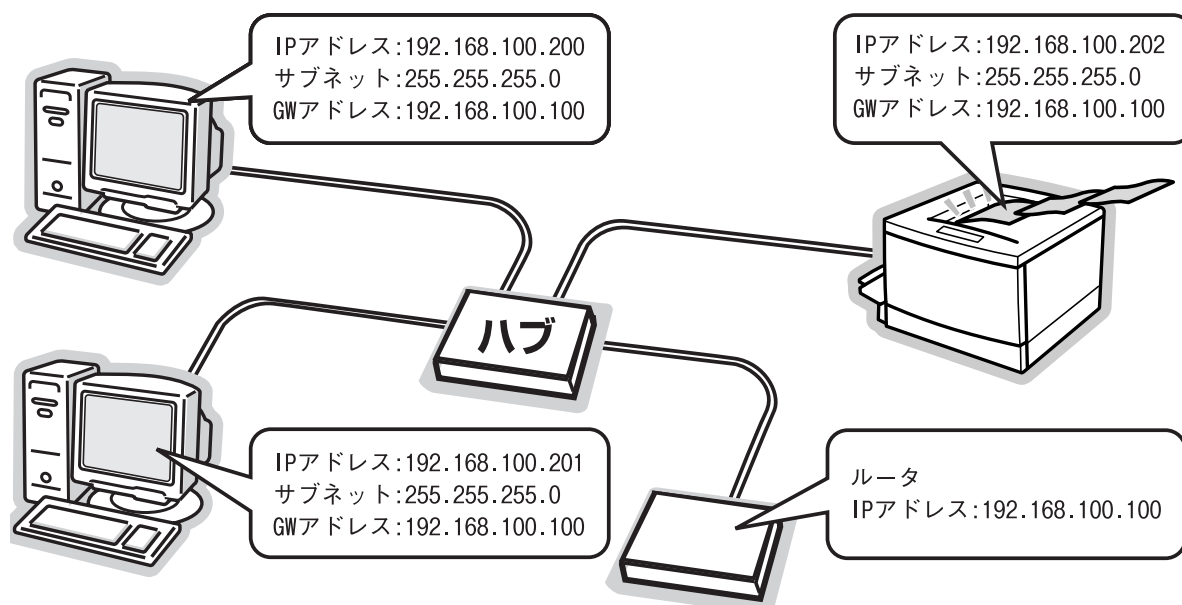
IP アドレスの割り振り方

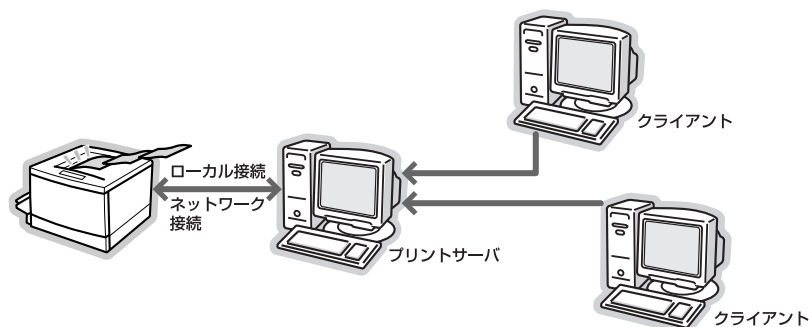
IP アドレスをネットワーク上のコンピュータに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。
電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルータ※といわれる中継器で分けます。

※　ゲートウェイ・ルータとは
　　同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルータ、社内ネットワークと外部（インターネット）との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルータによって分けられるエリアをセグメントといいます。

エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列（例：255.255.255.0）で表されます。
サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にかかる部分がエリアのアドレス（これをネットワークアドレスといいます）、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアドレスになります。サブネットマスクの詳細な説明は、インターネットなどを参照してください。
<例> IP アドレスが「192.168.100.200」の場合

プリンタを利用するコンピュータは、IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスなどを設定する必要があります。次表を参考に設定してください。

IP アドレス	あるコンピュータは 192.168.100.200、他のコンピュータには 192.168.100.201、本製品のネットワークインターフェイスには 192.168.100.202 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば、問題ありません。プリンタを利用するすべてのコンピュータで同じ値にしてください。
ゲートウェイ（GW）	ゲートウェイになるサーバやルータのアドレスを設定します。ゲートウェイがない場合は、設定の必要はありません。

<例>

プリンタを共有するには

コンピュータにネットワークまたはローカルで直接接続したプリンタを、他のコンピュータから共有して使用する手順を説明します。
プリンタをネットワークまたはローカルで直接接続したコンピュータをプリントサーバといい、プリントサーバに印刷許可を受けるコンピュータをクライアントといいます。

共有設定を始める前に、プリントサーバからネットワークまたはローカルで直接接続したプリンタへ、印刷ができることを確認してください。

プリンタをネットワークで直接接続する場合
☞ 本書 8 ページ「印刷環境の確認」

プリンタをローカルで直接接続する場合
☞ プリンタの取扱説明書

各 OS の設定方法を確認して、プリントサーバおよびクライアントを設定してください。

Windows の場合
☞ 本書 67 ページ「プリントサーバの設定（Windows）」
☞ 本書 72 ページ「クライアントの設定（Windows）」

Windows XP Service Pack 2 以降をインストールしている環境において、本製品を Windows の共有プリンタ接続で使用するときは、EPSON プリンタウィンドウ !3 から利用できる機能に制限が発生することがあります。制限事項と回避方法の詳細に関しては、エプソンのホームページを参照してください。
＜ http://www.epson.jp ＞

Mac OS X の場合
☞ 本書 76 ページ「プリントサーバの設定（Mac OS X）」
☞ 本書 76 ページ「クライアントの設定（Mac OS X）」

Windows 環境の代替 / 追加ドライバ機能

代替 / 追加ドライバ機能とは、プリントサーバに各 OS のプリンタドライバをインストールしておけば、クライアントは本製品のソフトウェア CD-ROM を使用せずに、プリントサーバから自動コピーでプリンタドライバをインストールできるため、インストール手順を簡略化できます。

手順の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 67 ページ「プリントサーバの設定（Windows）」

追加ドライバを削除するには、以下のページを参照してください。
☞ 本書 70 ページ「追加ドライバを削除するには」

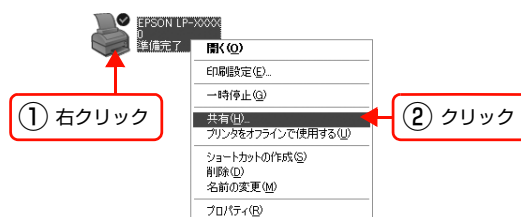
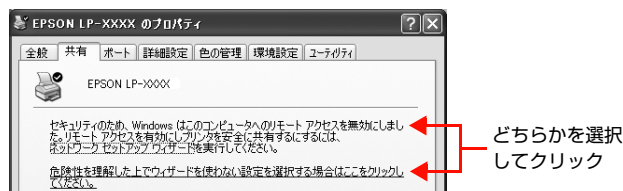
プリントサーバの設定(Windows)

プリントサーバとして設定する手順を説明します。また、追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。
追加ドライバの詳細は以下のページを参照してください。
☞ 本書 66 ページ「Windows 環境の代替 / 追加ドライバ機能」

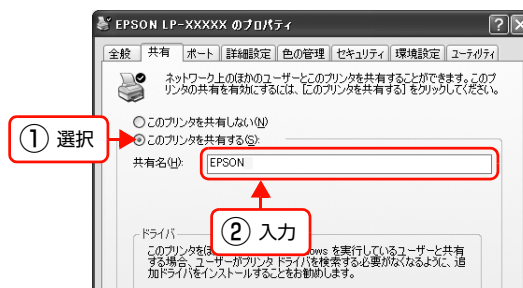
設定を始める前に、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

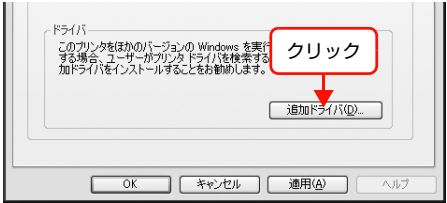
1 **［スタート］ ー ［プリンタ］ / ［プリンタと FAX］ を開きます。**

Windows XP： ① ［スタート］ ー ［コントロールパネル］ の順にクリック
［スタート］ メニューに ［プリンタと FAX］ が表示されている場合は、［プリンタと FAX］ をクリックして、手順 2 に進む
② ［プリンタとその他のハードウェア］ をクリック
③ ［プリンタと FAX］ をクリック
Windows Vista： ［ ］ ー ［コントロールパネル］ ー ［プリンタ］ の順にクリック
Windows 2000： ［スタート］ ー ［設定］ ー ［プリンタ］ の順にクリック

2 **本製品のアイコンを右クリックして、［共有］ をクリックします。**

> **参考** Windows XP で以下の画面が表示されたら、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。
>
>
>

3 **［共有する］ / ［このプリンタを共有する］ を選択して、［共有名］ を入力します。**

> **参考**
> Windows Vista では、［共有オプションの変更］をクリックして、［ユーザーアカウント制御］ 画面で ［続行］ をクリックすると、［このプリンタを共有する］ が選択できるようになります。

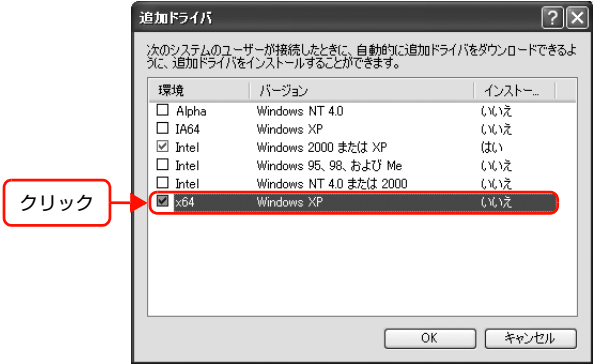
> **！重 要**
> エラーの原因になるため共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

4 **［追加ドライバ］をクリックして、追加ドライバをインストールします。**

追加ドライバをインストールしない場合は［OK］をクリックして、プリントサーバの設定を終了してください。

続いてクライアントを設定します。

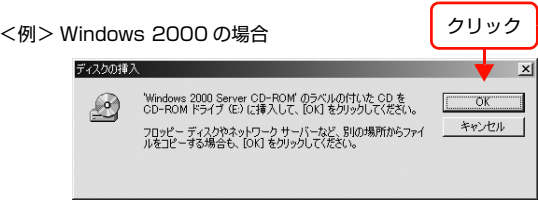
 本書 72 ページ「クライアントの設定（Windows）」

参考
- ［セキュリティ］タブが表示されているときは、設定した共有プリンタに対して使用するユーザーのアクセス権（印刷許可）を設定しないと、印刷できないことがあります。詳細は、Windows のヘルプを参照してください。
- クライアントから共有プリンタの状態を確認させるには、［OK］をクリックした後に EPSON プリンタウィンドウ !3 の［通知設定］画面で、［共有プリンタをモニタさせる］にチェックを付けてください。

5 **下表を参照して、クライアントの Windows バージョンにチェックを付け（または選択して）、［OK］をクリックします。**

プリントサーバ OS	クライアント OS	選択項目
Windows XP	64bit OS	x64 Windows XP
Windows Vista	64bit OS	x64 Type 3

6 **右のメッセージが表示されたら、本製品のソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットして［OK］をクリックします。**

メッセージが表示されない場合は、そのまま手順 7 に進みます。

<例> Windows 2000 の場合

※CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

7 **メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力して、[OK] をクリックします。**

入力例）
D：¥WINVISTA_XP64（D ドライブにセットしたとき）

※ クライアントOSは環境によってメッセージが多少異なります。

- ［デジタル署名が見つかりませんでした］といったメッセージの画面が表示されることがあります。[はい] または［続行］をクリックして、そのままインストールを進めてください。同梱のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。
- 本製品のソフトウェアCD-ROMによっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。

8 **［閉じる］をクリックしてプロパティを閉じます。**

参考　クライアントから共有プリンタの状態を確認させるには、［OK］をクリックした後に EPSON プリンタウィンドウ !3 の［通知設定］画面で、［共有プリンタをモニタさせる］にチェックを付けてください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定は終了です。続いて各クライアントを設定します。
☞ 本書 72 ページ「クライアントの設定（Windows）」

追加ドライバを削除するには、以下のページを参照してください。
☞ 本書 70 ページ「追加ドライバを削除するには」

追加ドライバを削除するには

プリントサーバにクライアント用の追加ドライバをインストールしたときは、以下の手順で追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

1 **起動中のアプリケーションソフトをすべて終了します。**

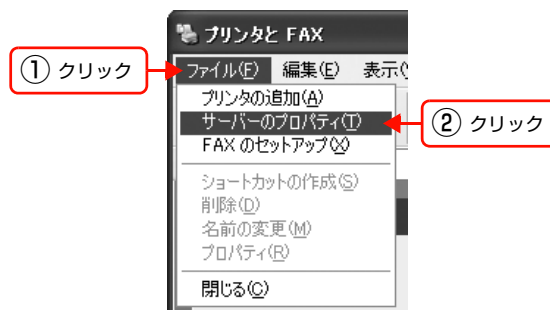
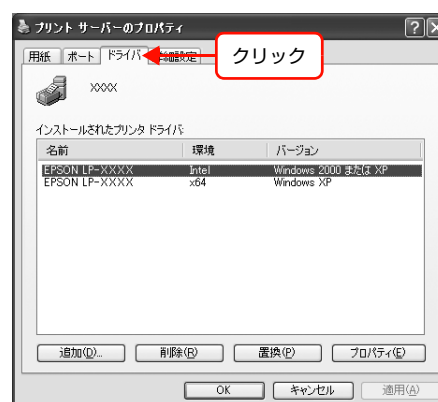
2 **［スタート］－［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

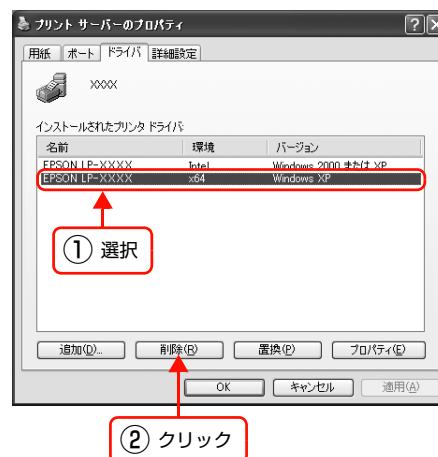
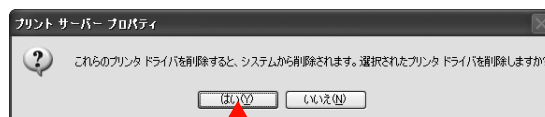
Windows XP： ①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリック
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、手順 3 に進む
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリック
③［プリンタと FAX］をクリック

Windows Vista：［ ］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

Windows 2000：［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック

3 **［ファイル］－［サーバーのプロパティ］をクリックします。**

Windows Vista：
プリンタを何も選択しないでウィンドウ内で右クリック－［管理者として実行］－［サーバーのプロパティ］をクリック

4 **［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタドライバ］リストを開きます。**

5 **削除する追加ドライバを選択して、［削除］をクリックします。**

Windows Vista：
［ドライバとパッケージの削除］画面が表示されたら、どちらかを選択して［OK］をクリック

6 削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。

7 [閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。

以上で終了です。

クライアントの設定（Windows）

ここでは、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダから、プリントサーバの共有プリンタに接続してプリンタドライバをインストール（コピー）する手順を説明します。
Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］から、共有プリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。

!重要 Windows 2000 Server はサーバ OS のため、クライアントとしての設定はしないでください。

プリントサーバの設定が終了している場合は、以下の各クライアント OS の設定に進みます。
本書 73 ページ「Windows 2000/XP/Vista」

プリントサーバの設定が終了していない場合は、プリントサーバを設定してください。
本書 67 ページ「プリントサーバの設定（Windows）」

プリントサーバに追加ドライバ機能でプリンタドライバをインストールしたときは、クライアント設定時に本製品のソフトウェア CD-ROM を使用せずに設定できます。
本書 66 ページ「Windows 環境の代替 / 追加ドライバ機能」

EPSON プリンタウィンドウ !3

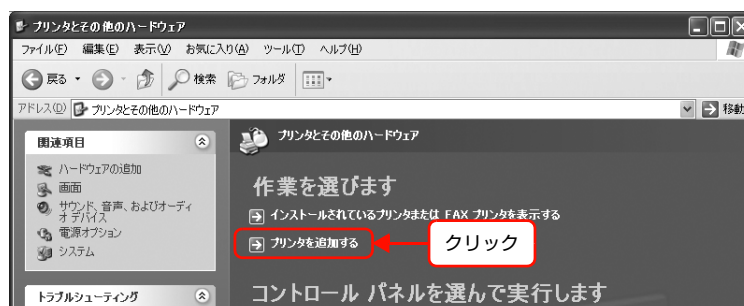
- 追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをクライアントにインストールしたときは、EPSON プリンタウィンドウ !3 はインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけます。
- 共有したプリンタの状況をクライアントから確認するには、ソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしてください。またプリントサーバの共有プリンタ側で、共有プリンタを監視できるように設定してください。

Windows 2000/XP/Vista

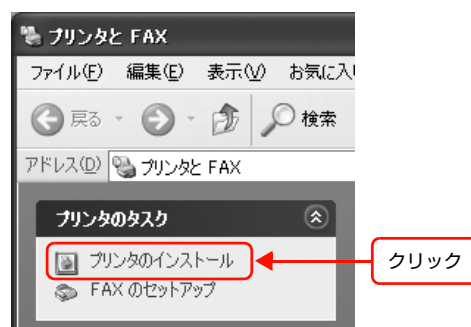
Windows が稼動するコンピュータをクライアントとして設定する手順を説明します。
設定を始める前に、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1 ［スタート］－［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

Windows XP： ①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリック
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、手順 2 に進む
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリック
③［プリンタと FAX］をクリック

参考 Windows XP では［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、手順 3 に進んでください。

Windows Vista：［ ］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック
Windows 2000：［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック

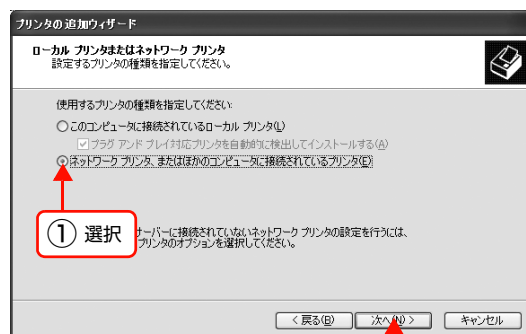
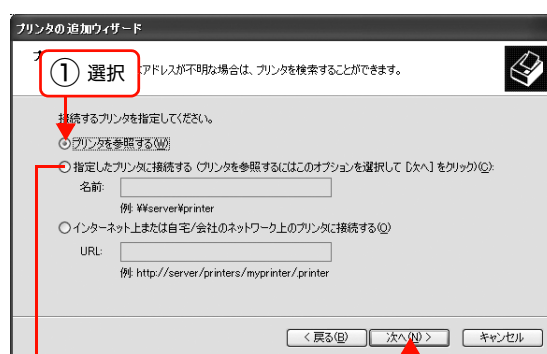
2 プリンタの追加ウィザードを起動します。

Windows XP：
①［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］をクリック

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリック
Windows Vista：
［プリンタのインストール］をクリック
Windows 2000：
①［プリンタの追加］をダブルクリック

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリック

3 **使用する共有プリンタを探します。**

Windows XP：

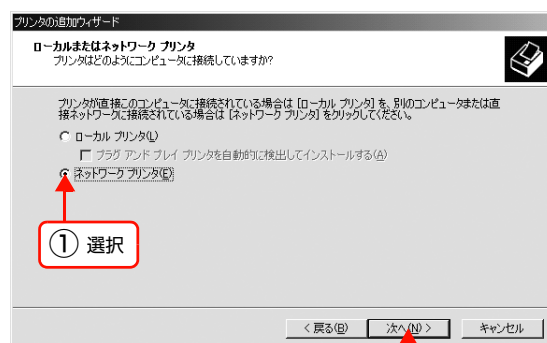
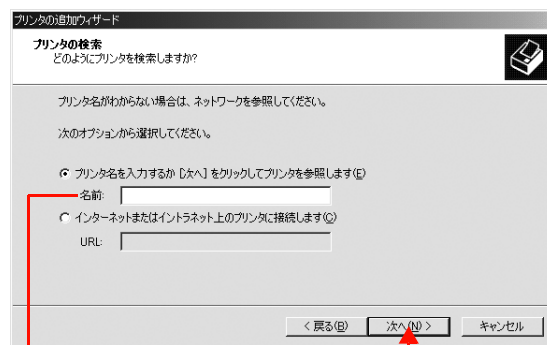
① ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して、［次へ］をクリック

② ［プリンタを参照する］を選択して、［次へ］をクリック

Windows Vista：

① ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］を選択して、［次へ］をクリック

② 自動的にプリンタが検索された場合は、手順 4 に進む
プリンタが検索されない場合は、［停止］をクリックして［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリック

③ ［共有プリンタを名前で選択する］を選択して［次へ］をクリック
ネットワーク上のプリンタ接続先がわかっているときは、入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
￥￥プリントサーバ名￥共有プリンタ名

Windows 2000：

① ［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］をクリック

② ［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］が選択されていることを確認して、［次へ］をクリック

ネットワーク上のプリンタ接続先がわかっている場合は、この入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
￥￥プリントサーバ名￥共有プリンタ名

4 共有プリンタを設定したプリントサーバをクリックし、共有プリンタの名前をクリックして［次へ］をクリックします。

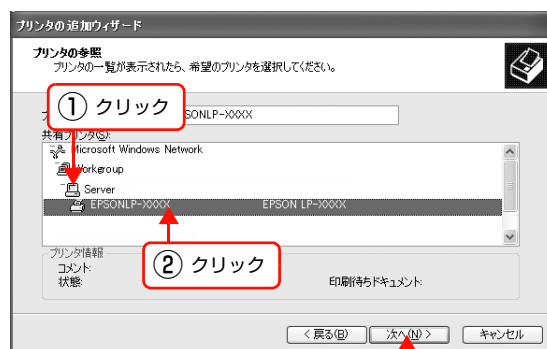
Windows Vista：

① ユーザー名、パスワードを入力する画面が表示されたら、プリントサーバマシンの情報入力

② 共有プリンタの名前をクリックして［選択］をクリック

③ ［プリンタの追加］画面が表示されたら［次へ］をクリック

参考

- プリントサーバで共有プリンタを設定したときに、プリンタの名称を変更していることがあります。ご利用のネットワークの管理者に確認してください。
- すでに該当製品のプリンタドライバがインストールされているときは、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択してください。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。
- Windows Vista の標準ユーザーで設定していたときは、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されます。管理者アカウントのパスワードを入力してください。

5 画面の指示に従って設定を終了します。

以上で終了です。

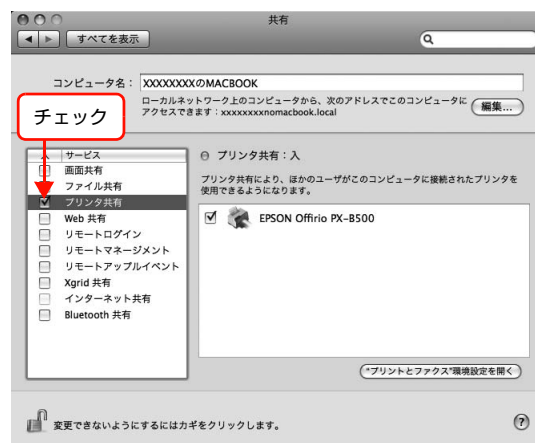
プリントサーバの設定(Mac OS X)

Mac OS X が稼動するコンピュータをプリントサーバとして設定する手順を説明します。

1 **アップルメニューの［システム環境設定］－［共有］の順にクリックします。**

2 **［プリンタ共有］にチェックを付けます。**

参考

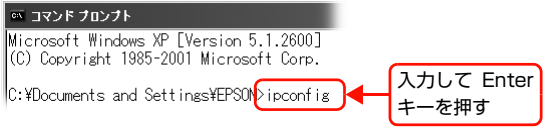
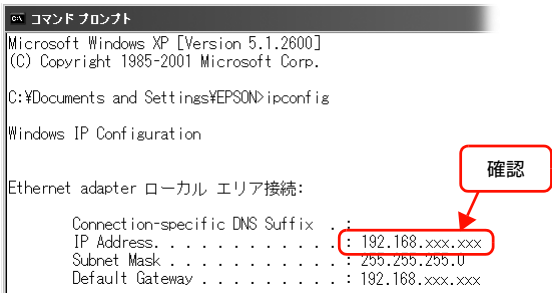
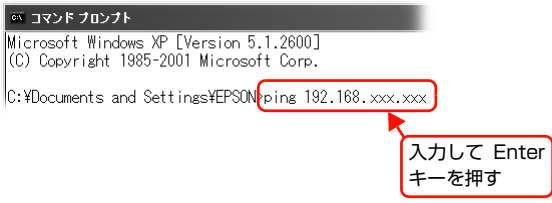
プリンタの共有を停止するときは、［停止］をクリックします。

以上で終了です。

クライアントの設定(Mac OS X)

ネットワーク上の共有プリンタは、自動的に追加されます。通常の方法でアプリケーションソフトの［ページ設定］画面や［プリント］画面を設定して印刷してください。

PING コマンドによる通信確認方法

TCP/IP ネットワーク環境で、コンピュータに設定された IP アドレスと本製品に設定した IP アドレスを確認してから、コンピュータと本製品の通信ができているか確認します。

Windows

1 ［スタート］（または［ ］）－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

2 キーボードから［ipconfig］と入力して、［Enter］キーで実行します。

3 IP アドレスを確認します。
「Ethernet adapter ローカル エリア接続」の「IP Address」を確認します。

4 本製品の IP アドレスを確認します。
IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
☞ プリンタの取扱説明書

5 キーボードから［ping］スペース［本製品の IP アドレス］を入力して、［Enter］キーで実行します。

6 通信しているときは、図 1 のように［Reply from 本製品の IP アドレス］が表示されます。通信していないときは画面に［Destination host unreachable］や、図 2 のように［Request timed out］が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。

図 1　図 2

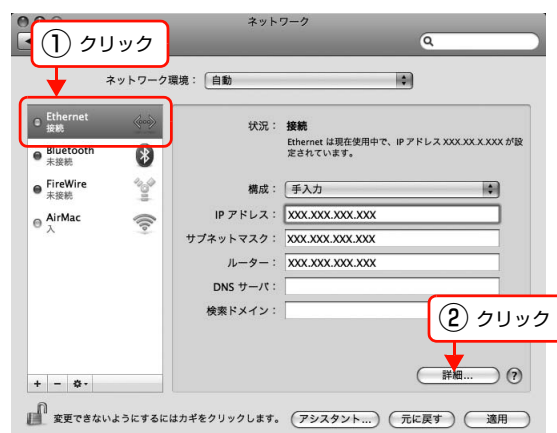
以上で終了です。

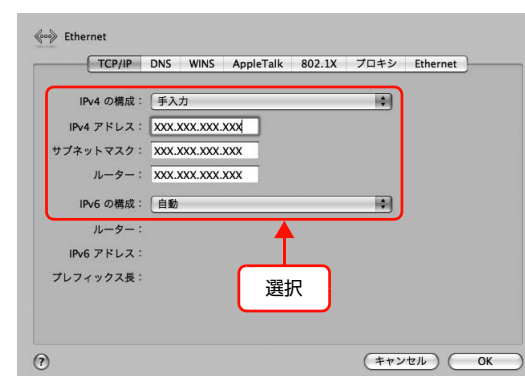
Mac OS X

1 アップルメニューの［システム環境設定］をクリックします。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックして、［ネットワーク環境：］で［自動］が選択されていることを確認します。

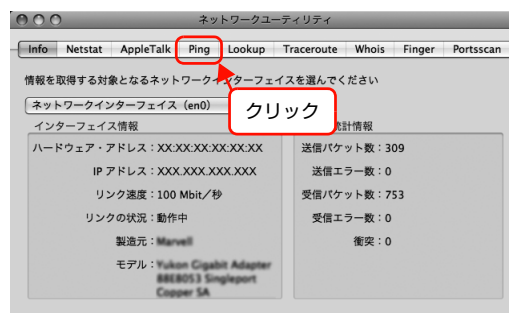
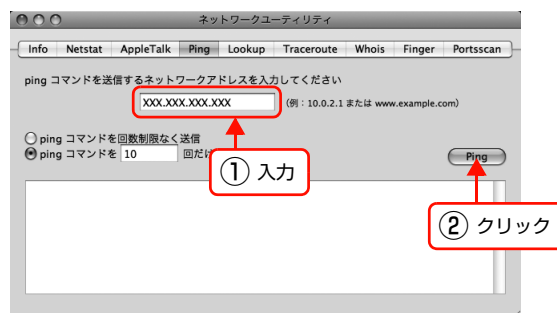
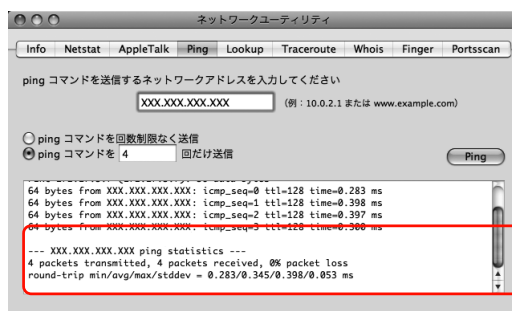
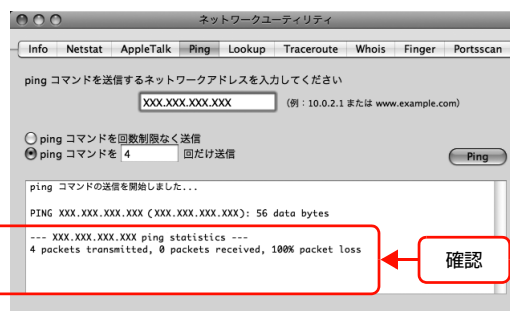
3 ［Ethernet］をクリックして［詳細］をクリックします。

Mac OS X v10.3.9/v10.4.x：
［表示］リストから［内蔵 Ethernet］を選択して、［TCP/IP］タブをクリック

4 ［IPv4の構成］（Mac OS X v10.3.9/v10.4.xは［Ipv4 の設定］）リストから、ネットワーク環境に合わせ項目を選択します。

DHCP サーバを使用している場合は［DHCP サーバを使用］を選択、IP アドレスを固定で使用している場合は［手入力］を選択します。

5 ［IPv4 アドレス］（Mac OS X v10.3.9/v10.4.x は［IP アドレス］）を確認します。

6 ご使用のプリンタの IP アドレスを確認します。

7 ［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］－［ネットワークユーティリティ］の順にダブルクリックします。

8 [Ping] タブをクリックします。

9 ネットワークアドレス入力欄にご使用のプリンタのIPアドレスを入力し、[Ping]をクリックします。

10 通信しているときは、送信した信号がすべて返信されるため、図 1 のように [0% packet loss] が表示されます。通信していないときは、送信した信号がすべて返信されないため、図 2 のように [100% packetloss] が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。

以上で終了です。

ソフトウェアライセンス

Info-ZIP copyright and license

This is version 2005-Feb-10 of the Info-ZIP copyright and license. The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
- Redistributions in binary form (compiled executables) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
- Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, and dynamic, shared, or static library versions--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or of the Info-ZIP URL(s).

Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

用語集

16 進数
0 ～ 9 の数字と、a ～ f までのアルファベット 6 文字を数字として用いて表現する。

A

APIPA(エーピーアイピーエー)
Automatic Private IP Addressing。ネットワーク機器に対して IP アドレスを自動的に割り当て、利用するための機能。DHCP サーバが存在しない小規模なネットワークなどで、IP アドレスの割り当てと管理を行う。APIPA を利用することによって、ユーザーはネットワークの IP アドレスを意識することなく、ネットワーク上のほかのクライアント等と通信できる。

ARP(アープ)
Address Resolution Protocol。TCP/IP プロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストの IP アドレスから MAC アドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持している IP アドレスと MAC アドレスの対応法を変更する場合にも使う。

D

DHCP(ディーエイチシーピー)
Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータの IP アドレスやデフォルト・ゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いている IP アドレスを自動的に割り当てる。

DNS(ディーエヌエス)
Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、その IP アドレスとの対応付けを行う仕組み。IP アドレスは 4 桁の 8 ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名から IP アドレスへの変換を行う。変換を行うサーバを DNS サーバという。

F

FQDN(エフキューディーエヌ)
Fully Qualified Domain Name。インターネットやイントラネット等の TCP/IP ネットワーク上でホスト名に続けてドメイン名まで省略せずにすべて指定した記述形式のこと。

例えば「LP-XXXX-XXXXX.epson.co.jp」のようにホスト名（LP-XXXX-XXXXX）とドメイン名（epson.co.jp）のすべてを指定した形式のこと。

I

IP アドレス
IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号（アドレス）のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR（エルピーアール）
Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス
Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB（ミブ）
Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP（Simple Network Management Protocol）マネージャと SNMP エージェントとでやりとりされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト（管理対象）を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB を持つ。

P

PING（ピング）
TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストをして、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して ping コマンドを実行して、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

S

SNMP（エスエヌエムピー）
Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、ハブ、ルータなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などといわれる。

T

TCP/IP（ティーシーピーアイピー）
Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

U

UPnP（ユーピーエヌピー）
Universal Plug and Play。Microsoft の新技術で、Windows Me で機能が提供されている。Web ベースのプロトコルを使って各種のデバイスが互いに存在を確認しあい、やり取りできるようにするもの。例えばプリンタをネットワークに接続するだけで、ネットワーク上でプリンタを認識できる。

い

インターネット印刷
Windows 2000 以降の OS に実装されている機能。Web ブラウザから、ファイアウォールを越えた先にあるプリンタに印刷できる。

え

エンティティタイプ
オブジェクトのタイプ。これによって、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

け

ゲートウェイ
クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内 LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内 LAN からはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータといい、ゲートウェイとは区別する。

さ

サブネットマスク
TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット（255.255.255.0）が標準で使用される。

し

シールドツイストペアケーブル
電線を 2 本ずつより合わせて対にしたケーブル。LAN ケーブルや電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。電気干渉に強い構造となっているものを、シールド型という。

た

ダイナミック DNS
IP アドレスとホスト名の組み合わせを動的に更新する DNS。これにより、ホストの IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名は維持される。LAN 内にダイナミック DNS 対応の DHCP サーバが必要。

ね

ネットワーククラス
IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の 3 つのクラスに分けられる。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

は

ハブ
ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のシールドツイストペアケーブルを RJ-45 モジュラージャックで接続し、スター型 LAN を構築する。

索引

数字

D

E

I

P

R

い

き

く

こ

さ

し

す

せ

て

は

ひ

ら

り